

2023 JCI 淡路 総合資料

機に勇ましく！

～新たな可能性を生み出すために～

一般社団法人 淡路青年会議所

2022 年度事業報告並びに決算報告書

2022 年度理事長 川越 勇輔

1. 理事長報告	3
2. 副理事長報告	5
3. 専務理事報告	6
4. 諸会議報告	7
5. 委員会事業報告	13
6. 委員会別事業決算明細	25
7. 直前理事長報告	26
8. 出向報告	27
9. 監事報告	35
10. 会員動向	36
11. 役員名簿	37
12. 出向者一覧	38
13. 組織及び委員会構成	39
14. 褒賞	40
15. 決算報告	41
16. 監査報告	48
17. 資料	49

2023 年度事業計画並びに収支予算書

2023 年度理事長 伊山 真司

1. 理事長所信	78
2. 基本方針	82
3. 副理事長抱負	83
4. 専務理事抱負	84
5. 監事抱負	85
6. 委員長・公室長事業計画並びに予算及び役割業務	86
7. 出向者抱負	98
8. 正味財産増減予算	102
9. 役員名簿	104
10. 出向者一覧	105
11. 組織及び委員会構成	106
12. 年間スケジュール	107
13. 日本 JC 近畿地区兵庫ブロック協議会組織図	108

2022年度 事業報告書

2022年1月1日～2023年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

一 般 社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所

2022 年度 スローガン

踏み出せ！決意の一步！

～淡路島の未来をつくる挑戦が今、はじまる～

2022年度 基本方針

- 一、 調査研究に基づく、事業構築の徹底を！
- 一、 どのような機会においても、学びの姿勢をとろう！
- 一、 行動することをためらわず、果敢に挑戦しよう！
- 一、 最高の仲間との関わりの時間を大切にしよう

1. 理 事 長 報 告

理事長 川越 勇輔



まずは2022年度、創立60周年という節目の年に理事長という大役を賜り、先輩諸兄姉並びにメンバー、そして多くの方々にご助力いただき、1年間を全う出来ましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

昨年の7月より自分がこの大役を全うできるのか不安の中で走り出しでありました。特に新型コロナウイルスの影響は凄まじく、LOM全体の雰囲気も変わる中での舵取りは想像を絶する決断の連続でありました。それでも、スローガンにした「踏み出せ！決意の一步！～淡路島の未来をつくる挑戦が今、はじまる～」を胸にメンバーの皆様、多くの先輩諸兄姉にもお支え頂き、この1年5ヵ月を全うすることができたと思います。また私自身の中では新型コロナウイルスの影響を受ける中で苦労して開催した新年式典での挨拶は本当に何事にも代えられない尊い経験として胸に刻まれております。あの場を経験し、はじめて理事長として自分自身を認めることに繋がったと思います。

創立60周年という節目の年、多くの歴代理事長にお話しを聞く機会を頂きました。過去の事業や出来事を、どれも昨日の事のように思い出し、お話しする皆様との時間はどれも素晴らしく貴重な経験となりました。ありがとうございました。また特に理事の皆様におかれましても、本年はそれぞれの委員会での役割分掌がある中、プラスアルファの周年事業という事で、本当に御苦労をお掛けしましたが、これも本年だからできた経験であると思いますので、是非これからの活動に活かして頂きたいと思います。そして、何より創立60周年記念式典・記念講演会では斎藤兵庫県知事をはじめとする史上稀にみる豪華な来賓となり、各地青年会議所理事長の皆様はご案内した全ての方にお越しを頂きました。また後の講演会には故安部元総理大臣、末松文部科学大臣（当時）、西村衆議院議員（現経済

産業大臣）などにもお越し頂きました。安部元総理に関しては後に悲慘な事件により残念な結果となりました。あらためてここに心からの感謝を申し上げると共に、ご冥福をお祈り申し上げます。また、講演会の２部では大阪公立大学の小長谷教授にも観光目線から「淡路はひとつ」になることの利点をお話し頂きました。今の淡路島は、2025 年の大阪・関西万博をはじめ 2023 年から始まる兵庫デスティネーションキャンペーンなど間違いなく注目を集める地域としてその存在感をさらに発揮しなければなりません。県内でも 1,2 を争う「観光」が盛んな地域としてメンバーが、また淡路島島民が意識の醸成を行い淡路島の発展に向けて歩みを進める必要があると思います。そこに淡路島一市は必要不可欠です。小長谷先生が言われた「CHANCE AWAJI」「ONE AWAJI」をさらに深め、今後の活動に活かして参りましょう。

この１年本当に多くの出来事があり、多くの出会いがありました。そして多くの経験をさせて頂きました。青年会議所は「機会の提供」と言われます。ここで経験したことはこの青年会議所だけのことではなく、社業、家族、自分自身など全てに繋がっています。何かに本気で取り組むからこそ得られる最高の経験、最高の友人は 40 歳で卒業を迎えてからも私たちを必ず支えてくれると確信しています。今、JAYCEE として活動できるこの時に感謝をし、皆様には今後の JCI 淡路が 70 年に向けての歩みを進める原動力として、益々の支援、ご協力をよろしくお願い申し上げ、報告とさせていただきます。一年間お世話になり、本当にありがとうございました。

2. 副 理 事 長 報 告

副理事長 濱 健一 伊山 真司 木戸 隆一郎 横山 泰明



まず初めに副理事長という大役を頂いたことを、川越理事長はじめ、関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。2022年度は4名の副理事長で、理事長の掲げる「踏み出せ！決意の一步！～淡路島の未来をつくる挑戦が今、はじまる～」のスローガンの下、理事長所信に書かれた方向へ向かい、全メンバーが与えていただいた役職と役割を全う出来るよう副理事長として日々務めてまいりました。三役間で議論しJCI淡路としての意思統一を図り、理事長の掲げる方向性に相違なく事業が実施できるのかを考えました。そして、各委員会を支え、委員長に寄り添う形で背景・目的に沿った事業構築に向かって時間を共にしてまいりました。また我々がこれまで諸先輩方から教わった事やJC活動で経験し学び得た事を各委員会へ伝播させられるよう努めてまいりました。そして、今年度行ったどの事業も委員長が懸命に考え、時間をかけて構築してきた素晴らしいものであったと自負しております。我々が今年度、体感させていただいた経験は、これからの仕事や人生に活かしていけると感じ、そしてこの経験を、様々な立場から次年度組織へ継承していくものと確信しております。一年間共にしたメンバーの皆様に改めて感謝申し上げます報告とさせていただきます。

3. 専務理事報告

専務理事 若林 晋一郎



今年度、組織の根幹を担う専務理事の役職を拝命し、理事長はじめ理事会構成者並びにメンバーの皆さまに多大なるご協力のもと職務を全う出来ましたことをまず以て感謝申し上げます。

専務理事として、理事長が指し示す方向へとメンバーを導き円滑な組織運営を行っていくために様々な不測の事態も想定する判断力、また三役間だけでなくメンバー全員までに浸透していくよう気を配ることで、広い視野を持って俯瞰的に全体を見ることの大切さを学ばせていただきました。

また、ブロック協議会や他 LOM、特別会員、関係諸団体と連絡調整を重ねていくことで JC 運動、JC 活動における意義や目的を再認識させていただく気付きも有りました。

1 年間活動させていただく中で、多々ご迷惑をお掛けしたこともございますが、多くの気づきと経験を得られたことに対しまして心より感謝申し上げ、専務理事としての報告に代えさせていただきます。1 年間ありがとうございました。

4. 諸 会 議 報 告

一般社団法人淡路青年会議所 第 18 回定時総会

2022 年 1 月 12 日（水）於 伊弉諾神宮 参集殿

正会員 47 名【出席 34 名 委任状 13 通】

- 第 1 号議案 2021 年度 事業報告承認に関する件
- 第 2 号議案 2021 年度 正味財産増減決算報告承認に関する件
- 第 3 号議案 2022 年度 正味財産増減修正予算承認に関する件

一般社団法人淡路青年会議所 第 17 回臨時総会

2022 年 5 月 11 日（水）於 洲本市経済交流センター

正会員 50 名【出席 33 名 委任状 17 通】

- 第 1 号議案 2022 年度 例会日時に関する件
- 第 2 号議案 2022 年度 事業計画及び予算並びに役割分掌承認に関する件
- 第 3 号議案 2022 年度 正味財産増減補正予算承認に関する件

一般社団法人淡路青年会議所 第 18 回臨時総会

2022 年 8 月 10 日（水）於 洲本市経済交流センター

正会員 50 名【出席 33 名 委任状 17 通】

- 第 1 号議案 2022 年度 例会日時に関する件
- 第 2 号議案 2022 年度 事業計画承認に関する件
- 第 3 号議案 2022 年度 正味財産増減二次補正予算承認に関する件
- 第 4 号議案 2022 年度 監事退任に関する件
- 第 5 号議案 2023 年度 理事予定者承認に関する件
- 第 6 号議案 2023 年度 監事予定者承認に関する件

一般社団法人淡路青年会議所 第 19 回定時総会

2020 年 12 月 14 日（水）於 夢海游 淡路島 4 階 まほろば

正会員 53 名【出席 35 名 委任状 18 通】

- 第 1 号議案 2022 年度 定款変更に関する件
- 第 2 号議案 2022 年度 預り金処分に関する件
- 第 3 号議案 2022 年度 正味財産増減決算報告承認に関する件
- 第 4 号議案 2023 年度 組織構成及び委員会構成に関する件
- 第 5 号議案 2023 年度 出向者に関する件
- 第 6 号議案 2023 年度 正味財産増減予算に関する件
- 第 7 号議案 2023 年度 事業計画に関する件
- 第 8 号議案 2023 年度 例会総会日時に関する件
- 第 9 号議案 2023 年度 預り金に関する件

理事会報告

年月日	内 容	場所
2022. 1. 5	1 月理事会 審議事項 (1) 理事長、副理事長及び専務理事選任の件 (2) 2021 年度事業報告承認に関する件 (3) 2021 年度正味財産増減決算報告承認に関する件 (4) 新入会員配属の件 (5) 準会員承認の件 (6) 2022 年度正味財産増減修正予算承認に関する件 (7) 2022 年度会費納入の件 (8) 対内広報誌発行の件 (9) 1 月例会の件 (10) 第 18 回定時総会提出議案の件 (11) 第 18 回定時総会設営の件 (12) 新年会の件 (13) 会員名簿作成の件 (14) 総合資料作成の件 (15) その他 協議事項 (1) 2 月例会の件 (2) 3 月例会の件 (3) LOM 役員懇談会の件 (4) 第 27 回わんぱく相撲淡路場所の件 (5) その他	青年会議所事務局
2022. 1. 26	第 1 回臨時理事会 審議事項 (1) その他 協議事項 (1) 洲本市長選挙公開質問状送付の件 (2) その他	ZOOM
2022. 2. 2	2 月理事会 報告事項 (1) 0B 会費・特別会費納入の件 (2) その他 審議事項 (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員会費納入の件 (3) 新入会員配属の件 (4) 準会員承認の件 (5) 60 周年記念事業の抛出の件 (6) 2 月例会の件 (7) 洲本市長選挙公開質問状の件 (8) その他 協議事項 (1) 3 月例会の件	ZOOM

2022. 3. 2	(2) 4 月例会の件 (3) 第 27 回わんぱく相撲淡路場所の件 (4) その他 3 月理事会 審議事項 (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 準会員承認の件 (4) 1 月例会事業報告並びに決算報告の件 (5) 第 18 回定時総会事業報告並びに決算報告の件 (6) 新年式典事業報告並びに決算報告の件 (7) 総合資料作成事業報告並びに決算報告の件 (8) 3 月例会の件 (9) 4 月合同例会の件【一部審議】 (10) 第 27 回わんぱく相撲淡路場所の件【一部審議】 (11) その他 協議事項 (1) 5 月例会の件 (2) その他 討議事項 (1) 淡路島一市推進事業の件	ZOOM
2022. 4. 6	4 月理事会 審議事項 (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 準会員承認の件 (4) 新年式典事業報告並びに決算報告の件 (5) 総合資料作成事業報告並びに決算報告の件 (6) 2 月例会事業報告並びに決算報告の件 (7) 会員名簿作成事業報告並びに決算報告の件 (8) 4 月例会合同例会の件 (9) 第 27 回わんぱく相撲淡路場所の件 (10) その他 協議事項 (1) 5 月例会の件 (2) 6 月例会の件 (3) 淡路島一市推進事業の件 (4) その他	淡路青年会議所事務局
2022. 5. 6	5 月理事会 審議事項 (1) 洲本市長選挙公開質問事業報告並びに決算報告の件 (2) 3 月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 5 月例会の件 (4) 2022 年度例会日時の件 (5) 2022 年度事業計画の件	淡路青年会議所事務局

	(6) 2022 年度正味財産増減補正予算の件 (7) 第 17 回臨時総会提出議案の件 (8) 第 17 回臨時総会設営の件 (9) その他 協議事項 (1) 6 月例会の件 (2) 淡路島一市推進事業の件 (3) 7 月例会の件 (4) 淡路島まつりおどり大会の件 (5) その他	
2022. 5. 17	第 2 回臨時理事会 審議事項 (1) 淡路島一市推進事業の件【一部審議】 (2) その他	ZOOM
2022. 6. 1	6 月理事会 審議事項 (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 4 月合同例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 6 月例会の件 (5) 淡路島一市推進事業の件 (6) その他 協議事項 (1) 7 月例会の件 (2) 選挙管理委員会設置の件 (3) 淡路島まつりおどり大会の件 (4) 8 月例会の件 (5) その他	淡路青年会議所事務局
2022. 7. 6	7 月理事会 審議事項 (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 2022 年度後期会費納入の件 (4) 第 27 回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件 (5) 7 月例会の件 (6) 選挙管理委員会設置の件 (7) その他 協議事項 (1) 8 月例会の件 (2) 第 18 回臨時総会議案提出の件 (3) 第 18 回臨時総会設営の件 (4) 9 月例会の件 (5) その他	青年会議所事務局
2022. 8. 3	8 月理事会 審議事項 (1) 第 27 回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件 (2) 6 月例会事業報告並びに決算報告の件	淡路青年会議所事務局

2022. 9. 7	(3) 淡路島一市推進事業報告並びに決算報告の件 (4) 8月例会の件 (5) 第18回臨時総会提出議案の件 (6) 第18回臨時総会設営の件 (7) その他 協議事項 (1) 9月例会の件 (2) 10月例会の件 (3) その他 9月理事会 審議事項 (1) 7月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 9月例会の件 (3) その他 協議事項 (1) 10月例会の件 (2) 11月例会の件 (3) その他	ZOOM
2022. 10. 5	10月理事会 審議事項 (1) 準会員承認の件 (2) 8月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 第18回臨時総会設営事業報告並びに決算報告の件 (4) 10月例会の件 (5) その他 協議事項 (1) 11月例会の件 (2) 12月例会の件 (3) その他	淡路青年会議所事務局
2022. 11. 2	11月理事会 審議事項 (1) 準会員承認の件 (2) 第18回臨時総会事業報告並びに決算報告の件 (3) 9月例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 11月例会の件 (5) その他 協議事項 (1) 12月例会の件 (2) 第19回定時総会提出議案の件 (3) 第19回定時総会設営の件 (4) その他	青年会議所事務局
2022. 11. 24	第3回臨時理事会 審議事項 (1) 12月例会の件【一部審議】 (2) その他 協議事項 (1) その他	青年会議所事務局

2022. 12. 7	12 月理事会 報告事項 (1) 2021 年度褒章委員会設置の件 審議事項 (1) 準会員承認の件 (2) 10 月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 11 月例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 創立 60 周年記念事業実行委員会事業報告並びに決算報告の件 (5) 創立 60 周年記念事業実行委員会解散の件 (6) 12 月例会の件 (7) 2022 年度定款変更の件 (8) 2022 年度預り金処分の件 (9) 2022 年度正味財産増減決算報告の件 (10) 2023 年度組織及び委員会構成の件 (11) 2023 年度出向者の件 (12) 2023 年度事業計画の件 (13) 2023 年度正味財産増減予算の件 (14) 2023 年度例会・総会日時の件 (15) 2023 年度預り金の件 (16) 第 19 回定時総会提出議案の件 (17) 第 19 回定時総会設営の件 (18) その他 協議事項 (1) その他	淡路青年会議所事務局
2023. 1. 6	第 13 回理事会 審議事項 (1) 新入会員承認の件 (2) 12 月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 第 19 回定時総会事業報告並びに決算報告の件 (4) 対内広報誌発行事業報告並びに決算報告の件 (5) ホームページ管理・運営事業報告並びに決算報告の件 (6) 2022 年度事業報告の件 (7) 2022 年度決算報告の件 (8) 理事会預かり金処分の件 (9) その他 協議事項 (1) その他	淡路青年会議所事務局

5. 委員会事業報告

理事長公室 公室長 伊東 明信



委員会スローガン

ホスピタリティ ～目配り・気配り・心配り～

担当	若林 晋一郎	委員長	伊東 明信	副委員長	林 祐司
委員	網島 幸治	岩鼻 大輔	田中 昭仁	堀部 泰博	

総括報告

まず初めに、メンバーの皆様におかれましては一年間ご協力いただき、また委員会活動にご協力いただき誠にありがとうございました。理事長公室委員会は一年を通しての理事長業務の補佐、書類作成業務、配布物の作成、また1月例会及び7月例会の設営、わんぱく相撲及び60周年事業の設営の担当させていただきました。色々な事業活動をしていくなかでメンバー全員がそろって委員会がなかなか出来ずにはおりましたが、多くのメンバーのご指導、ご協力をいただきながら、最後まで理事長公室委員会として活動を行うことができました。委員会のメンバーの皆様には感謝の念でいっぱいです。自分自身反省することは沢山ありますが、今後の教訓として胸に刻みたいと思います。最初に1月例会では今年度体制の一番最初の例会として伊弉諾神宮で設営することができました。新年度の最初の例会の開催となり、非常にタイトな日程の中での設営となりましたが多くの委員会メンバーにご協力いただいたからこそ開催できたと考えます。わんぱく相撲では、メンバーの中に過去にわんぱく相撲を開催したことのある経験者がほとんどいなかった為に準備をしていく中でわからないことが多く、過去の資料や先輩方に意見を聞きながらなんとか準備して無事に開催することができました。7月例会では選挙例会ということで厳格な取り決めの元、例会を開催することができました。選挙という重要な取り決めに携われたことは非常に大きな体験だったと思います。

12月に開催させていただいた創立60周年記念事業～学ぶ繋がる未来へ～は新型コロナウイルスの影響もあり開催自体が危ぶまれていましたが何とか無事開催することができました。最後の事業まで手伝っていただいた委員会メンバーの皆様や、最後まで親身になってJC活動や事業の準備の中身のことについて相談に乗ってくれた若林専務には感謝の言葉しかありません。最後になりましたが川越理事長、若林専務、また林副委員長をはじめとする理事長公室委員会メンバーの皆様、一年間委員会を盛り立て、ご協力いただきありがとうございました。あらためて関わったすべての方々に感謝申し上げます。

委員会報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2021. 10. 11	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	4 名
10. 19	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	4 名
11. 17	Zoom	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件、拡大活動の件	5 名
11. 18	事務局	1 月例会, 手帳作成の件	4 名
2022. 1. 10	事務局	1 月例会、拡大活動の件	5 名
1. 12	事務局	1 月例会, 拡大活動の件	4 名
3. 30	事務局	わんぱく相撲の件	3 名
4. 20	事務局	わんぱく相撲の件	4 名
4. 24	事務局	わんぱく相撲の件	3 名
4. 27	事務局	わんぱく相撲の件	3 名
4. 30	事務局	わんぱく相撲の件	4 名
5. 23	Zoom	60 周年の件	4 名
6. 2	事務局	60 周年の件、7 月例会の件	3 名
6. 29	事務局	7 月例会の件	3 名
7. 8	事務局	7 月例会の件	3 名
7. 12	洲本商工会議所	7 月例会リハーサルの件	4 名
8. 8	Zoom	創立 60 周年記念事業の件	5 名
9. 14	事務局	創立 60 周年記念事業の件	3 名
9. 17	事務局	創立 60 周年記念事業の件	3 名
9. 21	焼肉犇心	創立 60 周年記念事業の件	4 名
10. 23	事務局	創立 60 周年記念事業の件	2 名

事業報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2022. 1. 12	伊弉諾神宮	1 月例会	3 5 名
5. 1	かつば天国	わんぱく相撲	3 0 名
7. 13	洲本商工会議所	7 月例会	3 9 名
12. 4	佐野運動公園	創立 60 周年記念事業～学ぶ繋がる未来へ	2 3 名

LOM 連携推進委員会 委員長 大継 康高



委員会スローガン

淡路島を楽しむ仲間づくり

担当	濱 健一	委員長	大継 康高	副委員長	清水 孝
委員	赤澤 慎一、植田 峻正、江本 暁宣、前川 英亮、三澤 大祐、宮本 将史				

総括報告

まず初めに、2022 年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として LOM 連携推進委員会委員長の役をいただきました川越理事長に心からお礼を申し上げます。

今年度の新年式典をはじめ LOM 内の連携をはかる委員会として一年間邁進してきました。私自身、初めての理事ということで、不安な気持ちのまま今年度がスタートしたのですが、新年式典では多くのメンバーの皆様のご協力のおかげで無事に理事長の華々しいお披露目へと繋げることが出来たと実感しております。この新年式典を担当し、改めて LOM 内の連携の大切さを痛感することができ、その後の事業に対してもより当委員会の役割の重要さを感じました。

2 月例会では、淡路島の魅力をメンバー同士でディスカッションするといった LOM 内の交流を目的とした例会を試みましたが、急遽、新型コロナウイルス蔓延により zoom によるオンラインを中心とした例会に変更となり、なかなか思い描いていた内容の例会運営ができませんでした。しかし、8 月の例会では、コミュニケーションゲームを通して「目的をしっかりとメンバー全員に伝えること」「目的を全員で共有すること」の大切さを知ることができる内容の例会を開催したのですが、例会後に回収したアンケートの中には、「目的をメンバー全員で共有するためにはコミュニケーションを欠かさないことが重要だと思った」「目的を全体共有するためには、組織全体の考えを把握することも重要だと感じた」などの意見も多く、メンバー全員で LOM 内の連携をはかっていくことの重要さを共有にすることができたのでは感じております。また、11 月の振り返り例会を通して、各委員会が行ってきた事業や委員会でのやり取りをメンバー全員で共有することができたことは、次年度の JCI 淡路の活動に生きてくるのではと考えております。

最後になりましたが川越理事長、また担当でもある濱副理事長には 1 年間様々な場面で、アドバイスをいただき、他の三役関係の皆さまにも多くご指導を賜りました。また 1 年間ともに活動を行い、委員会を支えていただいた清水副委員長をはじめとする委員会メンバーに感謝申し上げます、活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2021. 10. 1 9	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	4 名
10. 25	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	4 名
11. 4	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件、新年式典の件	3 名
11. 26	事務局	新年式典議案書精査、新年式典理事長登場前演出の精査	6 名
12. 17	事務局	新年式典議案書精査、新年式典理事長登場前演出の精査	5 名
2022. 1. 14	彩翔	2 月例会の件	7 名
1. 31	事務局	2 月例会の件、zoom を活用した例会実施対策	6 名
2. 7	Web 上 (zoom)	2 月例会の件、zoom を活用した例会実施対策	3 名
2. 17	Web 上 (zoom)	創立 6 0 周年記念祝賀会の件	4 名
5. 9	事務局	8 月例会の件	5 名
6. 29	事務局	8 月例会の件	6 名
10. 18	牛心	1 1 月例会の件	5 名

事業報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2022. 1. 14	洲本市文化体育館	新年式典	3 6 名
2. 9	洲本市経済交流センター	2 月例会	3 8 名
8. 10	洲本市経済交流センター	8 月例会	3 9 名
11. 9	洲本市経済交流センター	1 1 例会	3 6 名

総務広報委員会 委員長 藤野 雅大



委員会スローガン

伝承～繋ぐきずな～

担当	横山 泰明	委員長	藤野 雅大	副委員長	天羽 一真
委員	岩崎 直美、岩鼻 大輔、織田 共子、富永 浩司、堀部 泰博、松本 和幸				

総括報告

まず始めに 2022 年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として総務広報委員会の委員長の大役を任命していただいた川越理事長に対し、心より感謝申し上げます。

当委員会は『伝承～繋ぐきずな～』のスローガンのもと一年間の委員会活動を行ってまいりました。

今年度は、ホームページ管理運営、対内広報誌、SNS 管理運営担わせていただきました。また創立 60 周年記念誌発行にも携わせていただき、創立 60 周年をむかえるにあたり、特別企画としては川越理事長と齋藤知事との未来の淡路島や淡路青年会議所について語られている様子を掲載いたしました。

12 月例会 伝承～繋ぐ想いと甚謝～では本年度をもってご卒業される方が 9 名おられ、JCI 淡路での活動されてきた経験や活動を通じて感じられたことを、次年度以降の現役として活動していくメンバーに対して、お伝えいただくことで、より魅力ある団体の成長に繋げていくこと、また次年度以降も活動するメンバーより卒業生へ感謝の気持ちを伝えることを目的に卒業例会を行いました。

今日までご指導いただいた感謝の気持ちをお伝えし、卒業生と藤井監事に記念品と花束を贈呈させていただきました。

最後になりましたが、対内広報誌発行やホームページの運用などの発行、更新が予定通りにできずたくさんの方に多大なご迷惑をおかけしてしまいました。次年度以降にしっかりと引き継ぎをしてまいります。担当の横山副理事長には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました天羽副委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様には最後の最後まで支えていただきました。改めて心より感謝を申し上げ、総括報告とさせていただきます。

委員会報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2021. 10. 28	ZOOM	オリエンテーションホームページ管理運営、SNS 管理運営、対内広報誌の件	4 名
11. 7	ZOOM	ホームページ管理運営、SNS 管理運営、対内広報誌の件	4 名
11. 15	ZOOM	ホームページ管理運営、SNS 管理運営、対内広報誌の件	4 名
12. 18	ZOOM	ホームページ管理運営、SNS 管理運営、対内広報誌の件	4 名
12. 19	ZOOM	ホームページ管理運営、SNS 管理運営、対内広報誌の件	4 名
12. 21	ZOOM	ホームページ管理運営、SNS 管理運営、対内広報誌の件	4 名
2022. 12. . 1	ZOOM	12 月例会の件、対内広報誌の件	6 名
12. 12	事務局	12 月例会の件、対内広報誌の件	6 名

事業報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2022. 12. 14	夢海游淡路島	12 月例会～伝承 繋ぐ想いと甚謝～	36 名

会員拡大委員会 委員長 高田 祥平



委員会スローガン

一心

担当	横山 泰明	委員長	高田 祥平	副委員長	中山 貴子
委員	網島幸治、岡本和也、田尾吏、立田淳子、原亜里沙、平松奈津紀、松田恒久、吉田 光佑				

総括報告

まず初めに、メンバーの皆様におかれましては一年間ご指導いただき、また拡大活動にご協力いただき誠にありがとうございました。会員拡大委員会は一年を通しての拡大活動、3回の例会設営、また創立60周年記念事業では記念品を担当させていただきました。拡大活動においては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に合わせながらの活動となり、候補者の方と直接お会いする機会を作るのが難しい状況でありましたが、多くのメンバーのご協力とご指導を頂きながら、最後まで委員会活動を行うことができ、感謝の思いでいっぱいです。もちろん、やれた事やれなかった事、悔やまれる事や反省点など多々ありますが、この経験を今後の糧として活かしていけたらと思います。

例会設営では、3月6月9月と3回のお役目を頂きました。当初、心・技・体と3つのテーマを設け準備を行ってまいりましたが、コロナの状況に合わせ、3月例会と9月例会がオンライン開催となり、事業内容を変更することとなりました。分からない事が分からないという状況の中、担当副理事長と委員会メンバーに助けられ、無事成し遂げることが出来ました。多くのメンバーにご協力いただきながら、回を重ねるごとに、自身の成長と委員会の結束が高まっていくという経験をさせていただきました。

創立60周年記念事業では、記念品の選定から、準備、当日まで、本当に色んな方から支援やご協力を頂き、新しい時代の淡路島を上手く表現し、ご来場いただいた皆様へ感謝の想いを届けることができました。想いを伝えることの大切さと難しさ、ひとりでは何もしないという事を痛感し、仲間への感謝と、お役目を頂けたことに大変感謝しております。

最後になりましたが川越理事長、横山副理事長を始めとする三役メンバーには多くのご指導、ご鞭撻を賜りました。また、中山副委員長をはじめとする会員拡大委員会メンバーの皆様にも、一年間委員会を盛り立てて頂きました。そして、共に闘った同期委員長の皆様、また全てのメンバーに感謝を申し上げ、総括報告とさせていただきます。ありがとうございました。

最後になりましたが、笠屋副理事長には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました坂本副委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様には最後の最後まで支えていただきました。改めて心より感謝を申し上げ、総括報告とさせていただきます。

委員会報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2021. 10. 27	鍋奉行たへえ	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	6 名
12. 21	チャルラール	3 月例会の件、候補者リスト作成の件、LINE グループ運用開始の件	9 名
2022. 1. 27	鍋奉行たへえ	3 月例会の件	6 名
3. 4	木村 Shokudo	3 月例会の件、リハーサル役割の件	6 名
3. 8	事務局	3 月例会の件、リハーサルの件	6 名
3. 22	鍋奉行たへえ	6 月例会の件、60 周年記念品の件、	7 名
4. 13	しらすぎの宿丸福	6 月例会の件、60 周年記念品の件、4～6 月スケジュール確認の件	5 名
5. 17	事務局	6 月例会の件、6 月スケジュール確認の件	3 名
5. 24	事務局	6 月例会の件、6 月スケジュール確認の件	5 名
6. 6	GOGO ドーム	6 月例会の件、6 月例会リハーサルの件	5 名
6. 7	事務局	6 月例会の件、6 月例会最終確認の件	4 名
8. 24	事務局	9 月例会の件、9 月スケジュール確認の件	4 名
8. 31	事務局	9 月例会の件、9 月スケジュール確認の件	4 名
9. 13	事務局	9 月例会の件、9 月例会リハーサル	6 名

事業報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2022. 3 . 9	事務局内	3 月例会 資本主義の仕組み～新しい時代に向けて～	37 名
6. 8	GOGO ドーム		31 名
9. 14	事務局内	6 月例会 共闘宣誓～大人の運動会～	35 名
		9 月例会 心動～共に進もう～	

淡路島一市推進委員会 委員長 戸田 敦大



委員会スローガン

情意投合～淡路島の未来へ～

担当	木戸 隆一郎	委員長	戸田 敦大	副委員長	坂本 敏行
委員	萩本 雅彦、福井 啓太、岸本 有宏、太田 康文、田中 昭仁				

総括報告

まず初めに、メンバーの皆様には1年間ご指導いただき、また、淡路島一市推進事業にご協力いただきましたこと御礼申し上げます。

本委員会では、淡路島一市推進事業として、「洲本市長選挙公開質問事業」と「地方創生は令和の国産み～淡路島一市へ～」を行い、60周年記念式典では式典を、例会では10月例会を請け負わせていただきました。

「洲本市長選挙公開質問事業」では同日に開催される予定の洲本市議会議員選挙が行われなかったことから目標としていた投票率に達することができなかったものの、SNSを通じ本事業を発信することで多くの方から反響をいただき洲本市政のこれからについて市民の方々に考えていただく一助になることができました。

安倍晋三元祖内閣総理大臣と小長谷一之 大阪公立大学教授を招いて講演いただいた「地方創生は令和の国産み～淡路島一市へ～」では多くの一般来場者にご参加いただきましたが、設営面での不備があり、ご協力いただいたメンバーの皆様に多大なご迷惑をお掛けしました。また、講師の方々とのコミュニケーション不足により本事業の趣旨をご理解いただけず「淡路島一市」への強いメッセージをいただけなかったことは、ひとえに委員長である私の不手際によるものであり、大いに反省するところです。

「60周年記念式典」においては、準備段階からホテルの担当者やメンバーと協力し、多くの来賓、特別会員に式典にお越しいただき私たちが現役としてJC運動を行えることに對する感謝を形にすることができました。

10月例会においてはその前段となる「淡路地域ビジョン2050 出前講座」を淡路県民局交流渦潮室の大橋様、正司様、また淡路LABOの皆様と共に行い、10月例会において淡路島の未来のビジョンをメンバーと共有することができました。

最後になりましたが川越理事長、木戸副理事長には多くのご指導、ご鞭撻を賜りました。誠にありがとうございました。また、坂本副委員長をはじめとする淡路島一市推進委員会メンバーの皆様、一年間委員会を盛り立て、ご協力いただきありがとうございました。あらためて関わったすべての方々に感謝申し上げます。

委員会報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2021. 10. 2	事務局	2022 年事業計画について	4 名
7	事務局	淡路島一市推進事業について	5 名
11. 27	事務局	淡路島一市推進事業について	6 名
12. 22	事務局	淡路島一市推進事業、60 周年記念式典について	3 名
2022. 1. 17	Zoom	洲本市長選挙公開質問事業について	5 名
1. 24	事務局	洲本市長選挙公開質問事業について	5 名
2. 21	事務局	淡路島一市推進事業、60 周年記念式典について	9 名
4. 18	事務局	淡路島一市推進事業、60 周年記念式典について	6 名
5. 16	事務局	淡路島一市推進事業・60 周年記念式典決算につい	4 名
7. 12		て、10 月例会について	
	事務局	10 月例会について	6 名
8. 22	事務局	10 月例会について	5 名
10. 11	味心 晶	10 月例会決算について、2022 年度振返りについで	4 名
11. 8			

事業報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2022. 2. 3～ 3. 6	JCI 淡路 H. P. 上	洲本市長選挙公開質問事業	9 名
6. 26	グランドニッコー 淡路	淡路島一市推進事業	38 名
10. 12	洲本市文化体育館	10 月例会	29 名



委員会スローガン

感恩報謝～今できる最大限の想いで～

担当	伊山 真司	委員長	津田 和典	副委員長	赤松 栄
委員	植野 泰幸、谷口 優、南部 真希也、増田 裕、山本 賢				

総括報告

まず初めに、2022 年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として委員長の大役を任命いただきました川越理事長に心からお礼を申し上げます。

私たちの委員会は「これまでご協力いただいた皆様へ感謝の想いを伝える 60 周年記念事業を作ること」が大きな役割となっておりました。

この役割を果たすために、実行委員会を設立し、議論を行ってまいりました。理事会後の開催となり、お疲れの中、より良い事業にしようと多くの議論をいただいた理事長をはじめとする理事会構成者の皆様には本当に感謝申し上げます。

またメンバーには過去先輩諸兄が行ってきた周年事業を調べ、どのような思いでこれまで JCI 淡路が活動し、周年事業を行ってきたか 4 月合同例会、5 月例会を通じ、共有を図りました。そして創立 60 周年記念式典・講演会当日にはメンバーの皆様の大きなご協力により大きな問題もなく、終えることができました。メンバーの皆様に感謝申し上げます。それに加え、4 月合同例会へのご参加くださった先輩諸兄、創立 60 周年記念式典・講演会へのご参加くださった先輩諸兄をはじめとする来賓や他 LOM の皆様にも改めて感謝申し上げます。このように多くの皆様の協力があったからこそ、創立 60 周年記念事業という大きな事業が実行できたことは、自分の中で大変貴重な体験をさせていただいたと感じております。

最後になりましたが、川越理事長、担当である伊山副理事長には多くのご指導、ご鞭撻を賜りました。誠にありがとうございました。また本年度理事会構成者の皆様においては多くの協力をはじめ、実行委員会内では様々な意見や深い議論をいただき、誠にありがとうございました。当委員会においては赤松副委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様、一年間委員会を盛り立て、多くの協力をくださったこと、本当にありがとうございました。あらためて関わったすべての方々に感謝申し上げ、活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2021. 10. 2	事務局	役割分掌の件、委員長抱負の件	6 名
0	事務局	60 周年ロゴの件、60 周年スローガンの件	6 名
11. 24	Zoom	4 月合同例会の件、5 月例会の件	4 名
2022. 2. 18	事務局	4 月合同例会の件、5 月例会の件	6 名
3. 29	夢海游	4 月合同例会(リハーサル)の件	4 名
4. 12	事務局	5 月例会の件、60 周年記念事業の件	5 名
5. 10	たへえ	60 周年記念事業の件	7 名
5. 25	たへえ	卒業ゴルフコンペの件	6 名
11. 4			

事業報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2022. 4. 13	夢海游	創立 60 周年記念 4 月合同例会	3 6 名
5. 11	洲本市経済センター	5 月例会 歴史を知り、未来へつなぐ～創立 60 周年記念事業を成功へ～	3 3 名
6. 26	グランドニッコー 淡路	創立 60 周年記念式典・講演会	3 9 名

6. 委員会別事業決算明細

2022年度 委員会別事業決算明細

委員会名	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	備考
科目	決算額	科目	決算額	科目	決算額	科目	決算額	科目	決算額	科目	決算額	科目	決算額
事業収入	614,500	会費費 借債利	83,624	事業収入	614,500	会費費 借債利	97,324	事業収入	614,500	会費費 借債利	97,324	事業収入	604,500
		消耗品	57,500			消耗品	24,500			消耗品	24,500		
		食糧費	15,000			食糧費	15,000			食糧費	15,000		
		レンタル料	0			レンタル料	0			レンタル料	0		
		支払手数料	0			支払手数料	0			支払手数料	0		
		譲渡金	0			譲渡金	0			譲渡金	0		
		資料作成費	2,730			資料作成費	3,875			資料作成費	3,875		
		広告費及費	39,419			広告費及費	32,670			広告費及費	60,000		
		報告書作成費	0			報告書作成費	0			報告書作成費	0		
		経費交通費	0			経費交通費	0			経費交通費	0		
		交際費	10,000			交際費	10,000			交際費	10,000		
		印刷製本費	410,000			印刷製本費	350,000			印刷製本費	350,000		
		通信運搬費	168			通信運搬費	672			通信運搬費	672		
		支払負担金	10,000			支払負担金	10,000			支払負担金	10,000		
		雑費	0			雑費	32,670			雑費	32,670		
		予備費	0			予備費	0			予備費	0		
小計	614,500	小計	588,641	小計	614,500	小計	614,500	小計	604,500	小計	604,500	小計	604,500
事業収入	645,900	会費費 借債利	246,463	事業収入	645,900	会費費 借債利	192,325	事業収入	809,900	会費費 借債利	212,325	事業収入	867,500
		消耗品	268,648			消耗品	346,000			消耗品	372,000		
		食糧費	0			食糧費	0			食糧費	0		
		レンタル料	0			レンタル料	0			レンタル料	0		
		支払手数料	50,000			支払手数料	80,000			支払手数料	160,000		
		譲渡金	0			譲渡金	0			譲渡金	0		
		資料作成費	0			資料作成費	0			資料作成費	0		
		報告書作成費	0			報告書作成費	0			報告書作成費	0		
		広告費及費	0			広告費及費	0			広告費及費	0		
		報告書作成費	0			報告書作成費	0			報告書作成費	0		
		経費交通費	0			経費交通費	0			経費交通費	0		
		交際費	0			交際費	0			交際費	0		
		印刷製本費	0			印刷製本費	0			印刷製本費	0		
		通信運搬費	6,783			通信運搬費	8,900			通信運搬費	13,100		
		支払負担金	0			支払負担金	8,900			支払負担金	8,900		
		雑費	0			雑費	25,000			雑費	25,000		
		予備費	0			予備費	0			予備費	0		
小計	645,900	小計	571,406	小計	645,900	小計	645,900	小計	809,900	小計	867,500	小計	867,500
事業収入	478,200	会費費 借債利	44,000	事業収入	478,200	会費費 借債利	35,000	事業収入	478,200	会費費 借債利	35,000	事業収入	478,200
		消耗品	37,000			消耗品	35,000			消耗品	35,000		
		食糧費	0			食糧費	0			食糧費	0		
		レンタル料	0			レンタル料	0			レンタル料	0		
		支払手数料	0			支払手数料	0			支払手数料	0		
		譲渡金	0			譲渡金	0			譲渡金	0		
		資料作成費	294,250			資料作成費	338,800			資料作成費	338,800		
		広告費及費	85,350			広告費及費	49,500			広告費及費	49,500		
		報告書作成費	1,100			報告書作成費	1,100			報告書作成費	1,100		
		経費交通費	0			経費交通費	0			経費交通費	0		
		交際費	0			交際費	0			交際費	0		
		印刷製本費	0			印刷製本費	0			印刷製本費	0		
		通信運搬費	0			通信運搬費	0			通信運搬費	0		
		支払負担金	0			支払負担金	0			支払負担金	0		
		雑費	0			雑費	0			雑費	0		
		予備費	10,300			予備費	10,300			予備費	10,300		
小計	478,200	小計	432,360	小計	478,200	小計	478,200	小計	478,200	小計	478,200	小計	478,200
事業収入	153,800	会費費 借債利	40,000	事業収入	153,800	会費費 借債利	100,324	事業収入	153,800	会費費 借債利	100,324	事業収入	143,800
		消耗品	16,500			消耗品	16,500			消耗品	16,500		
		食糧費	0			食糧費	0			食糧費	0		
		レンタル料	0			レンタル料	0			レンタル料	0		
		支払手数料	0			支払手数料	0			支払手数料	0		
		譲渡金	3,000			譲渡金	3,000			譲渡金	3,000		
		資料作成費	30,000			資料作成費	20,000			資料作成費	20,000		
		広告費及費	5,000			広告費及費	0			広告費及費	0		
		報告書作成費	0			報告書作成費	0			報告書作成費	0		
		経費交通費	0			経費交通費	0			経費交通費	0		
		交際費	15,000			交際費	10,000			交際費	10,000		
		印刷製本費	0			印刷製本費	0			印刷製本費	0		
		通信運搬費	0			通信運搬費	0			通信運搬費	0		
		支払負担金	0			支払負担金	0			支払負担金	0		
		雑費	0			雑費	0			雑費	0		
		予備費	3,626			予備費	3,626			予備費	3,323		
小計	153,800	小計	122,800	小計	153,800	小計	153,800	小計	143,800	小計	143,800	小計	143,800
事業収入	747,000	会費費 借債利	348,580	事業収入	747,000	会費費 借債利	457,700	事業収入	747,000	会費費 借債利	431,324	事業収入	1,143,500
		消耗品	60,583			消耗品	10,652			消耗品	5,900		
		食糧費	53,700			食糧費	24,000			食糧費	0		
		レンタル料	0			レンタル料	0			レンタル料	0		
		支払手数料	0			支払手数料	0			支払手数料	0		
		譲渡金	134,200			譲渡金	50,400			譲渡金	500,000		
		資料作成費	0			資料作成費	0			資料作成費	0		
		広告費及費	3,850			広告費及費	3,850			広告費及費	250,000		
		報告書作成費	0			報告書作成費	0			報告書作成費	0		
		経費交通費	32,840			経費交通費	0			経費交通費	0		
		交際費	0			交際費	0			交際費	0		
		印刷製本費	0			印刷製本費	0			印刷製本費	0		
		通信運搬費	766			通信運搬費	504			通信運搬費	330,000		
		支払負担金	0			支払負担金	0			支払負担金	20,000		
		雑費	0			雑費	0			雑費	0		
		予備費	9,290			予備費	9,290			予備費	20,323		
小計	747,000	小計	616,300	小計	747,000	小計	747,000	小計	1,143,500	小計	1,143,500	小計	1,143,500
事業収入	3,005,500	会費費 借債利	738,617	事業収入	3,005,500	会費費 借債利	237,677	事業収入	3,005,500	会費費 借債利	237,677	事業収入	3,005,500
		消耗品	302,224			消耗品	361,000			消耗品	361,000		
		食糧費	16,320			食糧費	300,000			食糧費	300,000		
		レンタル料	22,000			レンタル料	0			レンタル料	0		
		支払手数料	31,000			支払手数料	30,000			支払手数料	30,000		
		譲渡金	117,000			譲渡金	350,000			譲渡金	350,000		
		資料作成費	807,315			資料作成費	350,000			資料作成費	350,000		
		広告費及費	956,330			広告費及費	510,000			広告費及費	510,000		
		報告書作成費	24,325			報告書作成費	0			報告書作成費	0		
		経費交通費	0			経費交通費	0			経費交通費	0		
		交際費	0			交際費	0			交際費	0		
		印刷製本費	30,000			印刷製本費	10,000			印刷製本費	10,000		
		通信運搬費	105,080			通信運搬費	210,000			通信運搬費	210,000		
		支払負担金	3,740			支払負担金	4,400			支払負担金	4,400		
		雑費	0			雑費	123,723			雑費	123,723		
		予備費	3,111,181			予備費	3,005,500			予備費	3,005,500		
小計	3,005,500	小計	3,111,181	小計	3,005,500	小計	3,005,500	小計	3,005,500	小計	3,005,500	小計	3,005,500
事業収入	5,642,900	会費費 借債利	1,801,158	事業収入	5,642,900	会費費 借債利	1,148,350	事業収入	5,775,400	会費費 借債利	1,133,974	事業収入	6,243,000
		消耗品	725,387			消耗品	785,652			消耗品	805,652		
		食糧費	69,888			食糧費	379,000			食糧費	315,000		
		レンタル料	22,000			レンタル料	0			レンタル料	0		
		支払手数料	51,000			支払手数料	110,000			支払手数料	190,000		
		譲渡金	117,000			譲渡金	653,700			譲渡金	353,300		
		資料作成費	39,000			資料作成費	170,000			資料作成費	520,000		
		広告費及費	1,103,295			広告費及費	692,675			広告費及費	692,675		
		報告書作成費	1,050,149			報告書作成費	266,520			報告書作成費	869,500		
		経費交通費	26,623			経費交通費	1,100			経費交通費	1,100		
		交際費	32,440			交際費	0			交際費	0		
		印刷製本費	45,000			印刷製本費	30,000			印刷製本費	40,000		
		通信運搬費	112,797			通信運搬費	220,080			通信運搬費	243,772		
		支払負担金	10,000			支払負担金	16,000			支払負担金	16,000		
		雑費	3,740			雑費	4,400			雑費	62,070		
		予備費	0			予備費	171,223			予備費	187,144		
小計	5,642,900	小計	5,442,777	小計	5,642,900	小計	5,642,900	小計	5,775,400	小計	5,775,400	小計	6,243,000

7. 直前理事長報告

直前理事長 三浦 義崇



2022年度は川越理事長の掲げるスローガン「踏み出せ！決意の一步！～淡路島の未来をつくる挑戦が今、はじまる～」を基に、メンバー全員がJC活動に邁進できた一年であったと感じております。しかしながら、コロナ禍の影響で、思い通りに活動ができず、様々な試行錯誤を行う必要もありました。例年だったという慣用句が通用せず、その時の世情を感じ取りながら、様々な決断をしなければならなかった川越理事長をはじめ、執行部の皆様は頭を悩ませた一年だったと思います。その結果、2022年度のJCI淡路も継続性を持ちつつ、積極的な活動ができたのではないかと思います。私が理事長をした昨年度も同じ状況でしたが、支えていただいた三役の皆様と実行していただいた委員長をはじめとする各委員会メンバーの皆様のおかげで、一年間を乗り切りました。経験者として、それらの苦労を僅かでも少なくし、純粹にJC活動を進められるよう、理事長の最大のサポーターとして、活動してきたと思っております。実際にはどこまで寄り添うことができたのか分かりませんが、自分なりの活動はできたのではないかと感じております。特に副理事長、専務、公室長、委員長の皆様に関しては、これまでの自分のJCにおける経験をお伝えしようと、そして先輩諸兄から教わったことを次へつなげようと多くのお話をさせていただきました。最後になりましたが、「淡路はひとつ」の基本理念に基づき行動された2023年度もよりよい「明るい豊かな淡路島」の創造に繋がっていくことを祈念いたしまして、直前理事長報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

8. 出 向 者 報 告

公益社団法人 日本青年会議所
規則審査会議 小幹事 三浦 義崇



本年度、公益社団法人日本青年会議所 規則審査会議へ出向させていただきました。議長が JCI 明石の方で、出向前から知っている中ということもあり、楽しい機会をいただきました。また、日本中の青年会議所の同志と交流を持つことができたのは、出向でしか味わえないことだったと感じております。内容としては、WEB 会議でしか参加できませんでしたが、JCI 日本が推し進める事業や推進計画をコンプライアンス等の観点からチェックすることで、本会の活動や考えを知ることができたのは、卒業間際に素晴らしい経験をさせていただけたと思います。また、様々な場面で生かせるようなコンプライアンスの基準を知ることができました。このような機会をいただいた皆様に感謝を申し上げ、この経験を LOM へ返還できるよう、努めてまいりたいと思います。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2021. 11. 28	明石市商工会議所	規則審査会議
2022. 4. 14	ZOOM	規則審査第 3 小会議
2022. 7. 29	ZOOM	業種別連絡会議
2022. 8	ZOOM	業種別連絡会議
	ZOOM	規則審査会議
	ZOOM	規則審査第 3 小会議
	ZOOM	規則審査会議

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
地区課題解決モデル構築会議 議員 木戸隆一郎



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会地域の課題解決モデル構築委員会に出向させて頂きました。本委員会は新設された委員会で、D Xを利用した地域課題解決モデルを策定する業務、産官学が連携した事業構築を推進する業務が主な役割でした。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、なかなか委員会に参加は出来ませんでしたが企画、運営段階での各 LOM から出向している他の委員皆様の企画力や対応力など学ばせていただきました。このような経験を、これからの JCI 淡路での活動に生かしてけるよう日々精進してまいりたいと思います。最後になりましたが、1 年間出向させて頂いたことを心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2022. 1. 9	香住&Web	第三回委員会 打ち合わせ
3. 5	西宮青年会議所&WEB	第五回委員会 打ち合わせ
4. 9	神戸ポートピアホテル&WEB	合同委員会 打ち合わせ

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫の未来創造委員会 委員 植野 泰幸



本年、出向させていただきました兵庫ブロック協議会の兵庫の未来創造委員会では、J Cカップ兵庫県大会の開催、兵庫県知事の懇談会、兵庫のビジョンの選定と大きく三つの役割がありました。その中で特に兵庫県知事との懇談会ではJ C運動と兵庫県における地域創生戦略と共通の方向性を見出すために、有機的な意見交換の場となり多様な地域課題を協働して解決へと導く意識を共有することで、課題解決に向けての取り組みについて活動することができたと考えます。この委員会で学んだことをしっかりとLOMメンバーと共有し、今後のJ C I 淡路の発展に貢献できるよう努力してまいります。出向の機会を頂きありがとうございました。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2022. 2. 9	神戸ポートピアホテル	第1回 委員会
2. 22	WEB 会議	第2回 委員会
3. 28	WEB 会議	第3回 委員会
4. 18	WEB 会議	第4回 委員会
5. 23	WEB 会議	第5回 委員会
9. 5	WEB 会議	第6回 委員会
10. 17	WEB 会議	第7回 委員会
12. 17	香住 御宿 たつみ	第8回 委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫の魅力発信委員会 委員 堀部 泰博



本年度近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫の魅力発信委員会に出向させていただきました。兵庫ブロックの各種運動の発信や、地域の魅力を発信する事業を実施することが主な役割でした。特に5月27日に行われたASPAC 堺・高石大会という世界規模の大会にブース出展という形で参加できたことは、とても良い経験となりました。川越理事長・若林専務には遠路お越し頂きまして、当委員会が提供していたバインミーを食して頂きました。公私ご多用の中堺の地までお足を運んで頂いたことに、淡路JCの強い絆を感じました。この1年で得た経験をLOMで生かしていきたいと思えます。最後になりましたが、このような機会を与えていただいたことに心からの感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。ありがとうございました。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2021. 12. 23	西脇	第2回兵庫の魅力発信委員会
2022. 2. 11	Zoom	第3回兵庫の魅力発信委員会
3. 24	Zoom	第4回兵庫の魅力発信委員会
4. 9	神戸	第5回兵庫の魅力発信委員会
5. 27	堺	ASPAC 堺・高石大会 ブース出展
6. 23	洲本	第7回兵庫の魅力発信委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
LOM支援委員会 委員 中山 貴子



本年度兵庫ブロック協議会アカデミー委員会に出向させていただきました。
委員会の方は、コロナ禍であまり出席出来ませんでしたが、様子を見ながら小委員会やZOOMの方で参加をさせていただきました。他のLOMメンバーと交流ができ、色んな業種の方々とお知り合いになれて、人との付き合い方や気付きなど、学校では学べない様々な人々と触れ合う体験ができました。この体験を今後もLOMに活かしたいです。
1年間出向させていただき感謝しております。JCIでの活動で思い出が1つ増えました。出会えた皆様ありがとうございました。またお会いできるのを楽しみにしております。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2021. 11. 2	神戸ポートピアホテル	第一回 LOM 支援委員会
3	Zoom	第二回 LOM 支援委員会
2021. 2. 11	淡路島	小委員会ゴルフコンペ
3. 23～24	神戸ポートピアホテル	第四回 LOM 支援委員会拡大セミナー
4. 9	Zoom	兵庫 achieve
4. 19	春日住民センター体育館	LOM 支援委員会
7. 23	加古川温泉みとろ荘	LOM 支援慰労会
9. 26		

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
LOM支援委員会 委員 原 亜里沙



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会 LOM 支援委員会に出向させていただきました。コロナ渦ではありましたが対面での事業・委員会にも出席することができ、良い刺激を得ることができました。特に印象深かった事業は第一回事業での模擬理事会でした。私はオブザーバーでの参加でしたが青年会議所の知識を深め、議案を通すことの難しさや「事業」となるまでの過程を学ぶことができました。新入会員の私にとってはとても学びのある事業となりました。また、合同委員会で行われたゴルフコンペを通じて他 LOM のメンバーとも親交を深めることができました。このような貴重な体験の機会を頂戴しアカデミーに出向させて頂けたこと感謝しております。本年度の出向の経験を活かし、今後の自 LOM での活動に貢献できるよう精進させていただきます。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2022. 2. 11	ZOOM	第 2 回委員会
2. 22	ZOOM	小委員会
3. 21	ZOOM	第 3 回委員会
3. 23	肉の丸福（淡路島）	小委員会
3. 24	洲本ゴルフ倶楽部	小委員会
5. 01	丹波	第 1 回 LOM 支援委員会事業
6. 30	ZOOM	小委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
ブロック大会委員会 委員 平松 奈津紀



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会ブロック大会運営委員会に出向させていただきました。委員会としては第55回ブロック大会明石大会にて兵庫の文化や産業を発信することとブロック大会の歴史と各LOMの地域の魅力を大会式典の設営・運営を行ってまいりました。ブロック大会明石大会にて参加させていただいたり資料を拝見させていただいたりすることで新たな気付きのある1年となりました。このような体験の場を与えていただいたことは本当によい経験になりました。この経験をLOMで活かしたいと思います。最後になりましたが1年間出向させていただいたことに感謝しております。ありがとうございました。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2022. 1. 15	丹波 悠遊の森 (WEB 会場)	打ち合わせ
2022. 2. 11	WEB 会場	打ち合わせ
2022. 3. 16	WEB 会場	打ち合わせ
2022. 8. 20	明石	ブロック大会
2022. 8. 21	明石	ブロック大会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
財務規則審査会議委員会 委員 濱 健一



本年度、公益社団法人日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会 財務規則審査会議に議員として出向させていただきました。委員会の役割として兵庫ブロック協議会で行われる議案を審査させて頂き、また、LOM 役員交流会事業に参加させていただきました。古田議長のもと、様々な大きな事業の議案書を見る機会を頂き、多くの学びを得ることができました。また、財務規則審査会議に参加することにより、兵庫ブロックの委員長の事業に対する想いを実際に知ることができ、交流を図ることができました。この学びや経験を淡路 J C でも生かしていきたいと思っております。最後になりましたが 1 年間出向させていただき、貴重な体験をさせて頂いたことに感謝を申し上げ、出向の報告とさせていただきます。

出向記録

年 月 日	場 所	内 容
2021. 11. 2	神戸ポートピアホテル	第 1 回財務規則審査会議、委員会
3	ZOOM	第 2 回財務規則審査会議
12. 1	ZOOM	財務規則審査会議 勉強会
12. 16	ZOOM	第 3 回財務規則審査会議
2022. 1. 18	ZOOM	第 6 回財務規則審査会議
4. 18	淡路島夢海遊	淡路 LOM 役員交流会
9. 21		

9. 監 事 報 告

監事

三浦 義崇

藤井 宏昌



2022年度の監事として、例会、事業の円滑な運営や新たなる試みに対して、それが適正かどうかという点に意識を置きながら監事をさせていただきました。また、組織としての運営の決定機関である理事会において、議論されるべき各事業の目的、事業内容、予算執行が的確に行われているのかを確認させていただきました。これまで、培ってきた経験や知識を皆様にお伝えするとともに、客観的な視点からの質問、意見をさせていただいたと思っております。特に、三役の皆様には、コロナ禍の影響も含め、考えていただく機会を作る場面も多々あったと思います。三役の皆さま、そして公室長、委員長の皆様、一年間本当にお疲れさまでした。一般社団法人淡路青年会議所が来年度も変わらず、淡路島の未来のために邁進していただきますよう祈念いたしまして、監事報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

10. 会 員 動 行

1. 2021 年度末 会員数

正会員 59 名 特別会員 340 人

2. 2022 年度 入会者

新入会者名	推薦者		
林 征宏	濱 健一	伊東 明信	高田 祥平
江本 暁宣	濱 健一	伊東 明信	高田 祥平
太田 康文	濱 健一	伊山 真司	高田 祥平
立田 淳子	横山 泰明	平松 奈津紀	高田 祥平
松田 恒久	横山 泰明	平松 奈津紀	高田 祥平
松本 和幸	戸田 敦大	平松 奈津紀	高田 祥平

3. 2022 年度 会員数

正会員 47 名 特別会員 352 人

4. 2022 年度 退会者

なし

5. 2022 年度 休会者

なし

6. 2022 年 物故会員

平川 隆一・山下 紘一・筒井 幸作・鯛 勝次・小井手 義友

7. 2022 年度 除名者

なし

8. 2023 年度 卒業会員

赤松 栄・岩鼻 大輔・大継 康高・織田 共子・清水 孝・萩本 雅彦
福井 啓太・増田 裕・森田 俊寛

9. 2023 年度 役員選考委員

伊山 真司・木戸 隆一郎・津田 和典・横山 泰明・若林 晋一郎

1 1 . 2022 年度(一社)法人淡路青年会議所役員名簿

理 事 長	川 越 勇 輔
直前理事長兼監事	三 浦 義 崇
監 事	藤 井 宏 昌
副 理 事 長	濱 健 一
	伊 山 真 司
	木 戸 隆一郎
	横 山 泰 明
専 務 理 事	若 林 晋一郎
出 向 理 事	植 野 泰 幸
	平 松 奈津紀
理 事	伊 東 明 信
理 事	大 継 康 高
理 事	藤 野 雅 大
理 事	高 田 祥 平
理 事	戸 田 敦 大
理 事	津 田 和 典

12. 出向者一覧

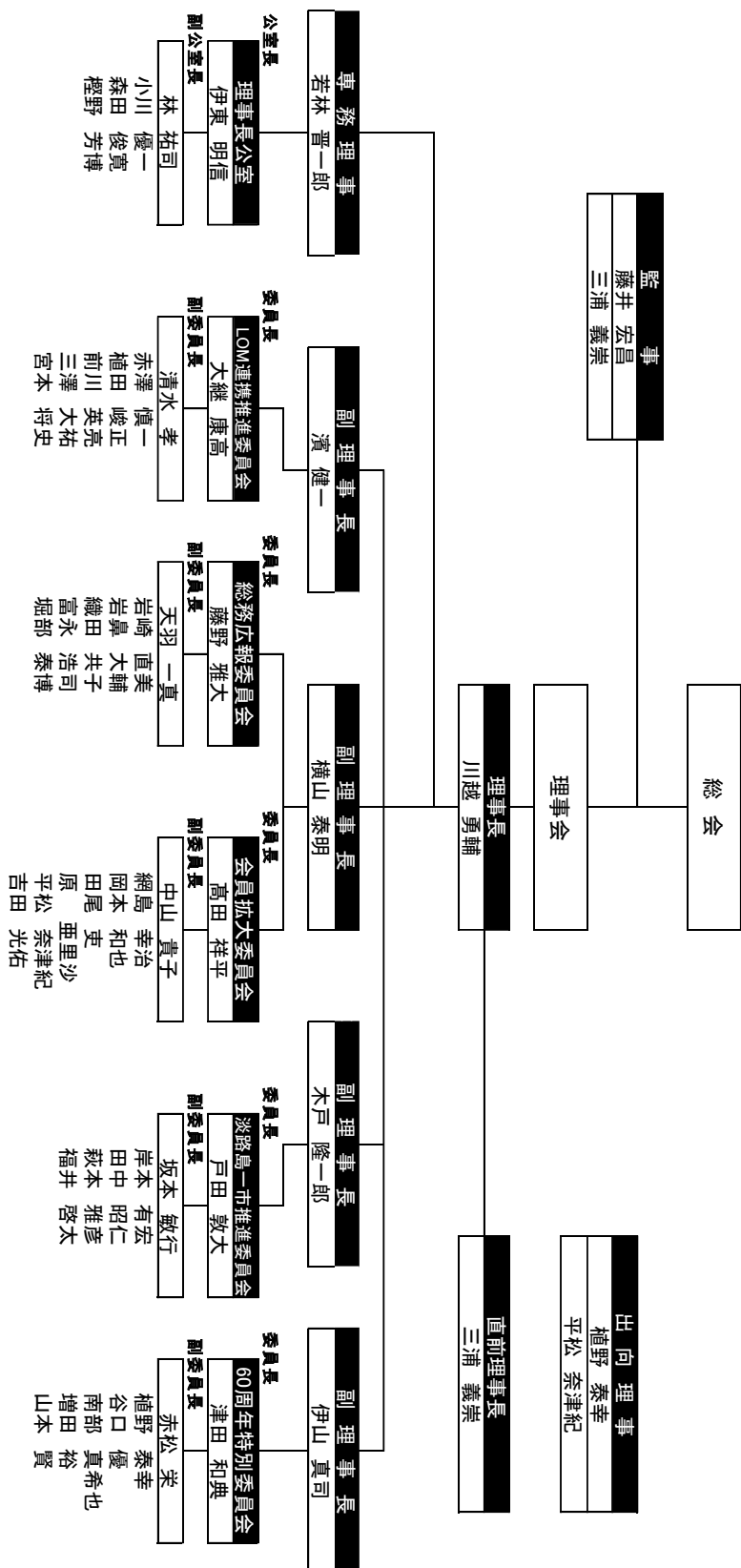
公益社団法人日本青年会議所

出 向 先	役 職	出 向 者 氏 名
規則審査会議	小幹事	三浦 義崇

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

出 向 先	役 職	出 向 者 氏 名
地域課題解決モデル構築会議	議 員	木戸 隆一郎
兵庫の未来創造委員会	委 員	植野 泰幸
LOM支援委員会	委 員	中山 貴子
	委 員	原 亜里沙
兵庫の魅力発信委員会	委 員	堀部 泰博
ブロック大会運営委員会	委 員	平松 奈津紀
財務規則審査会議	議 員	濱 健一

2022年度一般社団法人波路青年会議所 組織図



1 3. 組織及び委員会構成

14. 褒賞

褒章委員会

川越 勇輔 理事長
 三浦 義崇 直前理事長兼監事
 藤井 宏昌 監事
 濱 健一 副理事長 伊山 真司 副理事長
 木戸 隆一郎 副理事長 横山 泰明 副理事長
 若林 晋一郎 専務理事

1. 最優秀委員会賞 理事長公室
2. 優秀委員会賞 会員拡大委員会
3. 最優秀事業賞 淡路島一市推進委員会
 創立60周年記念講演会 淡路島一市推進事業 地方創生は
 令和のくにうみ～淡路島一市へ～ 』
4. 優秀事業賞 LOM 連携推進委員会
 『新年式典』
5. 最優秀会員賞 三澤 大祐 (LOM 連携推進委員会)
6. 優秀会員賞 坂本 敏行 (淡路島一市推進委員会)
7. 最優秀新会員賞 檜野 芳博 (理事長公室)
8. 優秀新会員賞 太田 康文 (淡路島一市推進委員会)
9. 出向者出席奨励賞 中山 貴子 原 亜里沙
10. 例会出席奨励賞 伊東 明信 伊山 真司 小川 優一 檜野 芳博
 川越 勇輔 木戸 隆一郎 高田 祥平 津田 和典
 戸田 敦大 中山 貴子 濱 健一 林 祐司
 三浦 義崇 横山 泰明 若林 晋一郎
11. 卒業生感謝状 赤松 栄 岩鼻 大輔 大継 康高 織田 共子
 清水 孝 萩本 雅彦 福井 啓太 増田 裕
 森田 俊寛

15. 決算報告

貸借対照表

令和4年12月31日現在

(単位:円)

科目	決算	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	10,988,363	
未収金		
前渡金		
立替金		
保管保証金		
流動資産合計	10,988,363	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産合計		
(2) 特定財産		
特定財産合計		
(3) その他固定資産		
什器備品	191,405	
有価証券	10,000	
敷金		
その他固定資産合計	201,405	
資産合計	11,189,768	
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		
2. 固定負債		
固定負債合計		
負債合計		
III 正味財産の部		
1. 指定正味財産		
指定正味財産合計		
2. 一般正味財産		
(うち基本財産への充当額)		
(うち特定財産への充当額)		
一般正味財産合計	11,189,768	
負債及び正味財産合計	11,189,768	

正味財産増減補正予算書(案)
令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

科 目	決算額	二次補正予算額	一次補正予算額	修正予算額	予算額	決算額	予算額	備考
	R4.1.1～R4.12.31 (12ヶ月分)	R4.1.1～R4.12.31 (12ヶ月分)	R4.1.1～R4.12.31 (12ヶ月分)	R4.1.1～R4.12.31 (12ヶ月分)	R4.1.1～R4.12.31 (12ヶ月分)	R3.1.1～R3.12.31 (12ヶ月分)	R3.1.1～R3.12.31 (12ヶ月分)	
I 一般正味財産増減の部								
1.経常増減の部								
(1)経常収益								
①受取入会金	300,000	300,000	150,000	0	0	250,000	0	6名×¥50,000
②受取会費	8,360,000	8,360,000	8,120,000	7,880,000	7,880,000	9,390,000	9,070,000	
正会員受取会費	8,000,000	8,000,000	7,760,000	7,520,000	7,520,000	9,120,000	8,800,000	47名×¥160,000 6名×¥80,000
その他受取会費	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	270,000	270,000	卒業生12名×¥30,000
③事業収益	455,000	0	0	0	0	0	0	
受託事業収益	0	0	0	0	0	0	0	
登録料	0	0	0	0	0	0	0	
その他事業収益	455,000	0	0	0	0	0	0	
④受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	
⑤寄付金	630,000	0	0	0	0	1,020,000	0	
⑥雑収益	14,171	500	500	500	500	7,900	500	
受取利息	111	500	500	500	500	92	500	
配当金	400	0	0	0	0	400	0	
雑収益	13,660	0	0	0	0	7,408	0	
経常収益計	9,759,171	8,660,500	8,270,500	7,880,500	7,880,500	10,667,900	9,070,500	
(2)経常費用								
①事業費								
給料手当						0		
福利厚生費						0		
会議費 賃借料	1,501,156	1,202,350	1,133,974	747,739	747,739	195,950	1,078,295	
消耗品費	725,957	1,014,681	981,355	993,144	993,144	161,358	286,256	
レンタル料	22,000	0	0	0	0	255,000	0	
食糧費	66,888	394,000	379,000	315,000	315,000	5,760	18,000	
人件費	0	0	0	0	0	0	0	
支払手数料	81,000	170,000	190,000	190,000	190,000	200,000	30,000	
講師関係費	147,200	403,700	397,100	353,300	353,300	6,800	433,300	
謝礼金	30,000	170,000	170,000	520,000	520,000	80,000	540,000	
資料作成費	1,104,295	692,675	692,675	692,675	692,675	1,015,985	545,485	
広告普及費	1,050,149	636,020	623,350	869,500	869,500	97,366	601,000	
報告書作成費	26,025	1,100	1,100	1,100	1,100	794,200	790,990	
旅費交通費	32,840	0	0	0	0	0	0	
交際費	0	0	0	0	0	0	0	
保険料	45,030	40,000	40,000	40,000	40,000	10,000	25,000	
印刷製本費	483,700	933,054	868,700	1,198,700	1,198,700	347,886	347,886	
通信運搬費	112,797	220,920	220,076	243,772	243,772	19,650	31,288	
支払負担金	10,000	10,000	16,000	16,000	16,000	0	10,000	
雑費	3,740	4,400	62,070	62,070	62,070	1,760	109,500	
事業費計	5,442,777	5,892,900	5,775,400	6,243,000	6,243,000	3,191,715	4,847,000	

科 目	決算額	二次補正予算額	一次補正予算額	修正予算額	予算額	決算額	予算額	備考
	R4.1.1~R4.12.31 (12ヶ月分)	R4.1.1~R4.12.31 (12ヶ月分)	R4.1.1~R4.12.31 (12ヶ月分)	R4.1.1~R4.12.31 (12ヶ月分)	R4.1.1~R4.12.31 (12ヶ月分)	R3.1.1~R3.12.31 (12ヶ月分)	R3.1.1~R3.12.31 (12ヶ月分)	
②管理費								
会議費	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	5,500	0	洲本経済交流センター会費 ¥2,000 × 12か月
給料手当	1,079,824	1,080,000	1,030,000	1,030,000	1,030,000	1,049,546	980,000	
退職給付引当金	0	0	0	0	0	0	0	
福利厚生費	129,721	150,000	150,000	150,000	150,000	127,583	150,000	交通費・雇用保険料
渉外費	182,767	300,000	300,000	300,000	300,000	178,377	300,000	各種登録¥78,000+褒賞¥60,000
慶弔費	55,705	100,000	100,000	100,000	100,000	26,500	150,000	
減価償却費	130,319	100,000	100,000	100,000	100,000	264,632	100,000	
消耗品費	497,447	500,000	460,000	460,000	460,000	366,477	460,000	コピー用紙・トナー他
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	
通信費	344,537	450,000	450,000	450,000	450,000	463,394	450,000	電話代・JCプレス送料等
印刷製本費	30,558	30,000	30,000	30,000	30,000	30,558	30,000	
賃借料	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	¥100,000 × 12ヶ月
光熱水料費	375,409	380,000	380,000	380,000	380,000	344,474	350,000	
保険料	25,220	19,000	19,000	19,000	19,000	18,590	19,000	火災保険
謝礼金	16,500	20,000	20,000	20,000	20,000	16,500	20,000	税理士報酬
修理費	0	50,000	50,000	50,000	50,000	54,780	50,000	
租税公課	34,740	40,000	40,000	40,000	40,000	34,692	70,000	印紙代・県民税(¥22,000)
雑費	121,851	100,000	100,000	100,000	100,000	120,566	100,000	登記費用・振込手数料・備品等
小計	4,248,598	4,543,000	4,453,000	4,453,000	4,453,000	4,302,169	4,429,000	
③負担金								
JCI会費	78,208	78,208	78,208	78,208	78,208	88,088	86,515	¥1,664 × 47名
日本JC会費	265,000	265,000	265,000	265,000	265,000	325,000	320,000	¥30,000+¥5,000 × 47名
国際協力資金	85,775	85,775	85,775	85,775	85,775	102,200	100,375	¥5 × 365日 × 47名
近畿地区会費	86,600	86,600	86,600	86,600	86,600	102,800	101,000	¥2,000+¥1,800 × 47名
兵庫ブロック会費	275,000	275,000	275,000	275,000	275,000	320,000	315,000	¥40,000+¥5,000 × 47名
小計	790,583	790,583	790,583	790,583	790,583	938,088	922,890	
管理費計	5,039,181	5,333,583	5,243,583	5,243,583	5,243,583	5,240,257	5,351,890	
経常費用計	10,481,958	11,226,483	11,018,983	11,486,583	11,486,583	8,431,972	10,198,890	
当期経常増減額	△ 722,787	△ 2,565,983	△ 2,748,483	△ 3,606,083	△ 3,606,083	2,235,928	△ 1,128,390	
2.経常外増減の部								
(1)経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0		0		
(2)経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0		0		
経常外費用増減額								
一般正味財産増減額	△ 722,787	△ 2,565,983	△ 2,748,483	△ 3,606,083	△ 3,606,083	2,235,928	△ 1,128,390	
一般正味財産期首残高	11,912,555	11,912,555	11,912,555	11,912,555		9,676,627	0	
一般正味財産期末残高	11,189,768	9,346,572	9,164,072	8,306,472	△ 3,606,083	11,912,555	△ 1,128,390	
Ⅱ正味財産期末残高	11,189,768	9,346,572	9,164,072	8,306,472	△ 3,606,083	11,912,555	△ 1,128,390	

2022年度 財 産 目 録

2022年12月31日現在
単位：円

科 目	数 量	金 額	摘 要
現金・預金	計	10,998,363	
現金		0	
淡路信用金庫 本町支店 普通預金		3,847,054	No.0 4 5 4 8 6 5
淡路信用金庫 本店営業部 普通預金		4,140,996	No.0 3 0 0 2 0 6
淡路信用金庫 本店営業部 普通預金		1,011,271	No.0 3 1 9 8 1 3
淡路信用金庫 本店営業部 普通預金		280,055	No.0 3 1 9 8 2 1
淡路信用金庫 本店営業部 普通預金		418,562	No.0 3 2 1 0 1 2
淡路信用金庫 本町支店 普通預金		1,290,425	No.0 7 4 9 0 1 2
淡路信用金庫 本町支店 有価証券		10,000	No.2 1 9 4 2

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法
什器備品……旧定率法によっている。

(2) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
パーティーション	271,950	271,947	3
コピー機	432,000	431,999	1
コピー機	550,000	358,599	191,401
合 計	1,253,950	1,062,545	191,405

自 2022年 1月 1日
至 2022年12月31日

2022年度 事業収益明細一覧

款	中科目	事業名	合計	金額 (1人当り)	参加人数	小計	返金	担当委員会	備考
事業収益	受託事業収益								
	小計		0				0		
	登録料								
	小計		0			0	0		
	その他事業収益		200,000				0		OB会60周年お祝い
			200,000						JCI神戸・JCI明石60周年お祝い
			55,000						来賓60周年お祝い
	小計		455,000			0			
	合計		455,000						

2022年度 寄付金収入明細一覧

寄付金	寄付金	0						
	一般寄付金	150,000						OB会
		120,000						阪神タイガース近本選手
		360,000						卒業生記念品12名×¥30,000
	小計	630,000						
	合計	630,000						

一般社団法人淡路青年会議所 2022年度 法人全体正味財産増減決算書(案)

[illegible]

2022年度 物品目録

2022年12月31日現在
単位：円

科 目	数 量	金 額	摘 要
物 品			
保管庫・スチール書庫	1 個	75,000	
旗三脚セット	1セット	10,000	
電話機	2 台	144,200	1 9 9 5 年度購入分
デスクコーナー	1 台	75,190	1 9 9 6 年度購入分
デスク	1 台	95,069	1 9 9 6 年度購入分
デスク	1 台	82,297	1 9 9 6 年度購入分
デスク	1 台	95,790	1 9 9 6 年度購入分
パソコンラック	2 台	16,171	1 9 9 6 年度購入分
チェアー	1 脚	28,634	1 9 9 6 年度購入分
チェアー	2 脚	43,878	1 9 9 6 年度購入分
チェアー	1 脚	20,600	1 9 9 6 年度購入分
バーテーション	1 脚	133,200	1 9 9 6 年度購入分
ウォールロッカー	1 台	37,389	1 9 9 6 年度購入分
両開き保管庫	3 台	81,267	1 9 9 6 年度購入分
引違いガラス保管庫	3 台	100,425	1 9 9 6 年度購入分
深型保管庫	3 台	79,413	1 9 9 6 年度購入分
会議テーブル	2 台	68,392	1 9 9 6 年度購入分
会議椅子	1 2 脚	97,644	1 9 9 6 年度購入分
ホワイトボード	1 枚	17,325	1 9 9 6 年度購入分
月間予定表	1 枚	15,398	1 9 9 6 年度購入分
月間掲示板	1 枚	31,734	1 9 9 6 年度購入分
トランシバー	7 台		某氏寄贈
ハンドマイク	1 台	20,611	2 0 0 0 年度購入分
国旗	1 旗	7,350	2 0 0 0 年度購入分
会議テーブル	1 5 台	155,000	2 0 0 3 年度購入分
パイプ椅子	2 0 脚	29,200	2 0 0 3 年度購入分
ファンヒーター	2 台	51,600	2 0 0 3 年度購入分
玄関表札	1 基	100,000	2 0 0 3 年度卒業生寄贈
ゴングマーク	1 個	10,000	2 0 0 6 年度購入分
卓上旗セット	1 式	7,840	2 0 0 6 年度購入分
J C I プレート	1 基	19,950	2 0 0 6 年度卒業生寄贈
モデム・ルーター	1 式	19,425	2 0 0 6 年度卒業生寄贈
耐火金庫	1 台	81,900	2 0 0 6 年度卒業生寄贈
自立式スクリーン	1 台	84,000	2 0 0 6 年度卒業生寄贈
プロジェクター	1 台	159,500	2 0 0 7 年度卒業生寄贈
タイムレコーダー	1 台	26,800	2 0 0 8 年度購入分
空気清浄機	2 台	60,000	2 0 1 0 年度卒業生寄贈
液晶テレビ	1 台	60,000	2 0 1 0 年度卒業生寄贈
パソコンディスクトップ	1 台	180,000	2 0 1 0 年度購入分
掃除機	1 台	13,440	2 0 1 0 年度購入分
バーテーション	2 台	99,750	2 0 1 1 年度卒業生寄贈
JCI旗	1 枚	20,000	2 0 1 2 年度卒業生寄贈
日の丸旗	1 枚	9,000	2 0 1 2 年度卒業生寄贈
awa ji 旗	1 枚	25,000	2 0 1 2 年度卒業生寄贈
のぼり (淡路JC)	1 0 枚	29,000	2 0 1 3 年度購入分
F A X	1 台	47,250	2 0 1 4 年度卒業生寄贈
パソコン	1 台	98,280	2 0 1 4 年度卒業生寄贈
プロジェクター	1 台	108,000	2 0 1 5 年度卒業生寄贈
パソコンプリンター	1 台	50,760	2 0 1 5 年度卒業生寄贈
卓上旗セット	1 台	8,364	2 0 1 6 年度購入分
JCI旗	1 枚	28,500	2 0 1 6 年度卒業生寄贈
冷蔵庫	1 台	24,084	2 0 1 8 年度購入分
淡路の未来フォーラムのぼり	1 0 枚		2 0 1 8 年度某氏寄贈
ボール	1 0 本		2 0 1 8 年度某氏寄贈
スタッキングチェア	2 0 脚	172,800	2 0 1 9 年度卒業生寄贈
のぼり (淡路JC)	1 0 枚	20,000	2 0 1 9 年購入分
のぼり (ともいく事業)	4 枚		2 0 1 9 年購入分
アクリル板	2 0 枚	110,000	2 0 2 0 年購入分
換気扇・空気清浄機	各 1 台	116,666	2 0 2 0 年購入分
プレジデンシャルリース	1 個	140,000	2 0 2 0 年度卒業生寄贈
プレジデンシャルリースケース	1 個	27,000	2 0 2 0 年度卒業生寄贈
演台	1 台	15,290	2 0 2 1 年度購入分
旗三脚	1 台	11,990	2 0 2 2 年度購入分
ピックパナースタンド	1 式	77,550	2 0 2 2 年度購入分
パナソニックデジタルビデオ	1 台	36,080	2 0 2 1 年度卒業生寄贈
三脚	1 台	7,693	2 0 2 1 年度卒業生寄贈
キャノン一眼レフカメラ	1 台	115,819	2 0 2 1 年度卒業生寄贈
月間スケジュールボード	1 枚	13,042	2 0 2 2 年度購入分
S D カード	2 枚	8,756	2 0 2 2 年度購入分
外付けハードディスク/カードリーダー	各 1 個	15,252	2 0 2 2 年度購入分
合 計		3,871,558	

16. 監 査 報 告

一般社団法人淡路青年会議所

代表理事 川越 勇輔 殿

私たち監事は、令和4年1月1日から令和4年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正

に表示してしるものと認めます。

令和4年 月 日

一般社団法人淡路青年会議所

監事

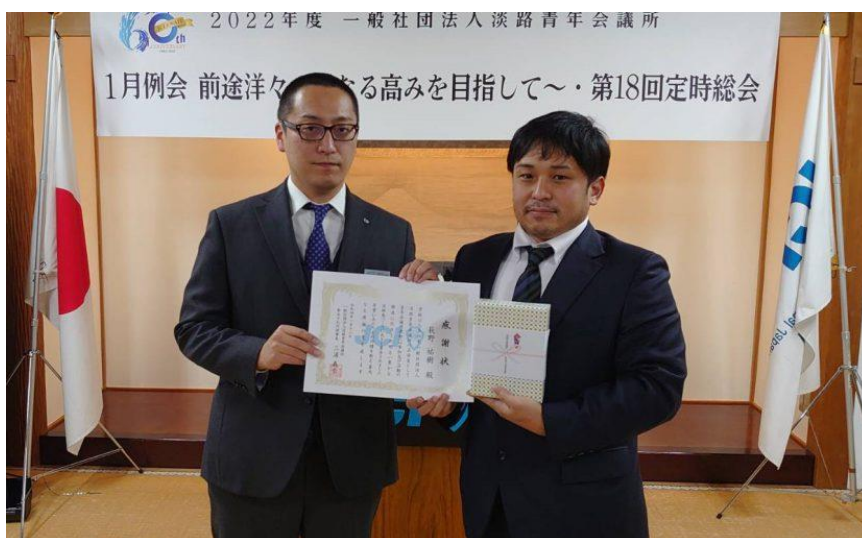
印

監事

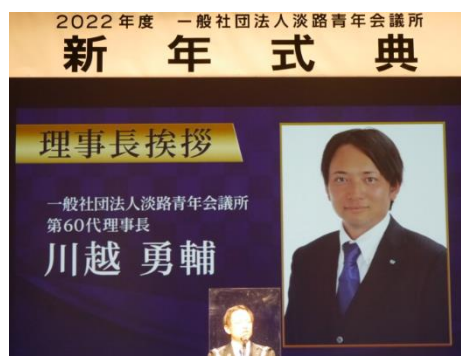
印

17-1. 資 料 事業別写真

1 月例会 伊弉諾神宮参拝 第18回定時総会



2022 年度 一般社団法人淡路青年会議所 新年式典



洲本市長選挙公開質問状



2 月例会

～淡路島の未来を創造～JCI 淡路だからできること～



3月例会 ～資本主義の仕組み～新しい時代に向けて～



創立 60 周年記念 4 月合同例会



第 27 回わんぱく相撲淡路場所



5月例会 ～歴史を知り、未来へつなぐ～

60周年記念事業を成功へ～ 第17回臨時総会



6月例会「共闘宣誓～大人の運動会～」



淡路青年会議所 60周年記念式典



創立60周年記念講演会 淡路島一市推進事業

「地方創生は令和のくにうみ～淡路島一市へ～」



7月例会「未来を創るのは君だ！！～情熱の一票を～」

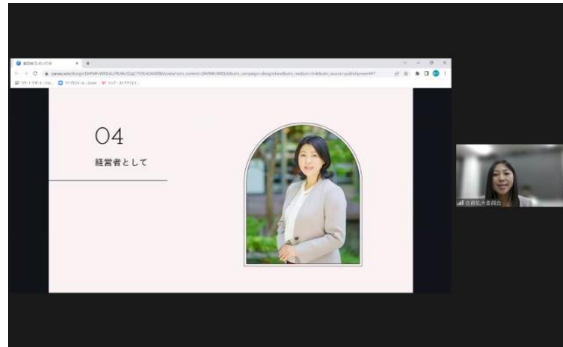


8 月例会

和衷協同～目的の伝達と共有～ 第 18 回臨時総会



9月例会 心動～共に進もう～



ビジョン説明会と10月例会～One AWAJI Chance AWAJI～



1 1月例会 ～想いの伝承～



創立 60 周年記念事業～学ぶ繋がる未来～



12月例会 伝承～繋ぐ想いと甚謝～



18-2.資料 新聞記事切抜

2022年(令和4年)2月10日 木曜日

洲本市長選で公開質問

淡路青年会議所、立候補予定者に
雇用対策など10項目

淡路青年会議所(JC)は、洲本市長選(3月6日投票)の立候補予定者に公開質問を行うと9日発表した。若年層の雇用対策、淡路島1市など10項目。回答を14日から淡路JCのホームページに掲載するとしている。

質問は他に島外からの移住促進策、子育て環境の充実策など。若年層の関心が高いテーマを多くした。各質問に300字以内の回答を求めている。インスタグラムなど会員制交流サイト(SNS)でも発信する。

島内の市長選投票率は下落傾向で、2018年の前回洲本市長選は59・63%だった。公開質問事業は同JCとしては初めてという。投票率アップも目指す。

同市長選には上崎規元副市長(66)と氏田年行元市議(53)が立候補を表明している。(吉田みなみ)

公開質問について発表する淡路JCの若林晋一郎専務理事(左)と同JC「淡路島1市推進委員会」委員長の戸田敦大淡路市議(洲本市長選)



神戸

洲本市長選出馬予定 2候補に公開質問状

淡路JC

淡路青年会議所(JC)は9日、任期満了に伴い27日告示、3月6日投票の洲本市長選に立候補を表明している元同市副市長の上崎規氏(66)と、元同市議の氏田年行氏(53)に対し、市の将来ビジョンなどを尋ねる公開質問状を送り、回答を同JCのホームページ(HP)で公開すると発表した。

若い世代の政治への関心を高め、同市長選の投票率アップを狙う。公開討論会の開催を検討したが、新型コロナウイルスの感染拡大により質問状の回答を公開することにしたという。

質問状は「若い世代の政治参加」「若年雇用対策」「子育ての環境」「淡路島1市」など10項目。1つの質問に300字以下で答えてもらい、質問ごとに2氏の回答を掲載するという。

11日午後3時に回答を締め切り、14日午前10時からJCのHPで公開。JC公式のインスタグラムなどでも若者が注目するような書き込みを行い、HPに誘導するとしている。

産経

島内の児童競う「わんぱく相撲」

来月1日、3年ぶり開催

淡路島内の小学生が競う相撲大会「わんぱく相撲淡路場所」が5月1日、3年ぶりに開かれる。主催する淡路青年会議所が参加者を募っている。

青少年の健全育成のため、同会議所が1993年から続ける。2020年と21年は新型コロナウイルスの影響で中止した。

1日の記者発表で、同会議所の川越勇輔理事長(36)は、「この2年は歯がゆい思いをした。子どもの心身の成長と地域とのつながりが見込める大会。ぜひ参加を」と話した。

応募用紙を4月6日まで

淡路青年会議所は、27回目を迎える「わんぱく相撲淡路場所」を5月1日に淡路市で開くことを発表した。コロナ禍の影響で、開催は3年ぶり。島内の小学生の参加を22日まで受け付けている。

小学1〜3年生は男女混合で、4〜6年生は男女別となる。4〜6年生の男女の各優勝者は、6月19日に高砂市である「わんぱく相撲兵庫ブロック大会」に出場できる。

同会議所の川越勇輔理事長は「地域のつながりや子どもたちの喜ぶ顔、負けた時に泣いている顔を見ているので、どうしてもやりたかった」と話した。

参加無料。申込書に必要事項を記入し、ファクス(0799・22・6626)か郵送、またはメールで淡路青年会議所に申し込む。問い合わせは同会議所(0799・22・6611)。(前林以恵)

に島内の小学校へ配布予定。ホームページでも公開する。申し込みは22日まで郵送かファクス、メールで受け付ける。同会議所事務局0799・22・6611

(吉田みなみ)

感染拡大で中止した。今年の会場は津名スポーツセンター(淡路市大谷)の土俵場。3年生以下は男女混合、4年生以上は男女別で学年ごとに戦う。4年生以上の男女各優勝者計6人は、6月19日に高砂市である兵庫ブロック大会への



神戸

わんぱく相撲 集まれ小学生

淡路で来月1日 3年ぶり開催

淡路青年会議所は、27回目を迎える「わんぱく相撲淡路場所」を5月1日に淡路市で開くことを発表した。コロナ禍の影響で、開催は3年ぶり。島内の小学生の参加を22日まで受け付けている。



小学1〜3年生は男女混合で、4〜6年生は男女別となる。4〜6年生の男女の各優勝者は、6月19日に高砂市である「わんぱく相撲兵庫ブロック大会」に出場できる。

同会議所の川越勇輔理事長は「地域のつながりや子どもたちの喜ぶ顔、負けた時に泣いている顔を見ているので、どうしてもやりたかった」と話した。

参加無料。申込書に必要事項を記入し、ファクス(0799・22・6626)か郵送、またはメールで淡路青年会議所に申し込む。問い合わせは同会議所(0799・22・6611)。(前林以恵)

わんぱく相撲淡路場所をPRする淡路青年会議所川本市信委員長(左)と伊東明

朝日

私たち大学の
休みで念願の
初波路やねん！



令和4年(2022年)3月31日 木曜日

**全国
くろくマング
ワイルドクラブ**

表彰式

漫画家の里中貴智子さんら4人による審査の結果、各部門の漫画、イラストの部でそれぞれ大人部門（高校生以上）、子供部門（中学生以下）のグランプリと優秀賞が決まった。

グランプリ受賞者の声

(ペンネームを含む、敬称略)

○大人数部 「やぶられた約束とはじまりの」
 ○黒子弥生 (29) 「兵庫東福地町」神話をもとに、これを描いたのは初体験でときめきを感じた、これから大きなイラを起こした」
 ○子供部門 「日本国創造史」みなとみなみ「(13)「宮城県仙台市」で受けて描いた作品を始めてもなえてとてうれし。将来は漫画家になるのが夢です」
 【淡路島部門イラスト】

◇大人部門 「はじまりの地」あらまゝ
(20)「兵庫馬場崎市」私なりに満足した作品
だが、裏をいたげるとは思わず驚きと腹がはい
びになった」

◇子供部門 「夢むし」R-1(12) じい
さん知縣西尾市「初投稿で受賞でき本当にようれ
しい。将来イラストレーターになる夢への自信
がこつた」

◇大人部門 「喰われ神」 鎌野優人(22) 〃
東京都北区「アイヌ神話をモチーフにした作品」です。より多くの人にアイヌ神話が広まってい

【二】当地部門イラスト】
 ◇大人部門 「鹿踊」 井(31) 徳島市「地
 元(愛媛)の秋祭で行われる鹿踊がモチーフ。
 この伝承が広く認知され、活性化につながって

◆子供部門 「アマテラス」ライスバーガー
焼肉(17) 神奈川県相模原市「太陽を象徴する
天照大御神を描いた。この絵を通して近くに
この神を祭る神社があることを知った」



グランプリに選ばれ賞状を
授与されるRiriさん



審査員とともに記念撮影にのぞむご当地部門（左）と淡路島部門（右）の入賞者の皆さん。（いずれも3月19日、兵庫県淡路市）

審查員講評

新ルネサンスを

情報経営イノベーション専門職大

学学長 中村伊知哉氏
「プロ並みの高度な
作品からひと目で幸せ
になれるかわいいい絵ま
で多彩な力作が寄せられた。新型コロナの感
染収束後は皆さんで、新ル
ネサンスを生んでください」

心こもった作品

中溝智子氏「今回は
談路島の園生み神話の
ほか、東北地方の昔話
を題材にした作品が多
かった。自分の力を精一杯込めた心
のこもったすばらしい作品ばかりで

100

力作ぞろい

ゲームデザイナー 堀井雄二氏

「各地の神話を自分なりに解釈しようまく物語やイラストにした力作ぞろいでした。これらの作品を通して多くの人がその世界に思いをはせることでしょう」

レベル高かった

「高校生以上の大人部門のレベルが高かった。完成度はもちろん、このコンテストで重視されるPR性などに大いに期待できる作品が見受けられました」

国生みの地で地方文化創造

第2回全国くうみマンガワールドカップ実行委員会
会長 門廣彦・淡路市長

「全国から300点を超える魅力的な作品が寄せられ、有意義な大会となりました。日本が世界に誇るマンガという文化を通じて、淡路島を世界へ発信するとともに、マンガにある地方文化の創造を国生みの地である淡路島から創って参りたいと考えています」

優美賞

「鐵路沿線」邊境(大入部) 金谷久夫 59
「大阪近郊」市街(大入部) 村松孝典 60
「供部町」桜並木(大入部) 神谷孝典 61
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 62
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 63
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 64
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 65
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 66
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 67
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 68
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 69
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 70
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 71
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 72
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 73
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 74
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 75
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 76
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 77
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 78
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 79
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 80
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 81
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 82
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 83
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 84
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 85
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 86
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 87
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 88
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 89
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 90
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 91
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 92
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 93
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 94
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 95
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 96
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 97
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 98
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 99
「兵庫」兵庫川(大入部) 佐藤孝典 100

全国くにうみマンガワールドカップ

漫画やイラストを用いて旅路島や全国各地、世界各国にまつる伝承・民話などを普及させようと令和元年から始まったコンテスト。古事記に数えられた旅路島の国生み神話をはじめ、さまざまな地域の昔話や伝説をもとに作品化することで文化復興につなげるのが狙い。2回目となった今回は「国生み神話」のほか、北海道のアイヌ神話など地域色豊かな作品が多く寄せられた。

主催 全国にうみマンガワールドカップ実行委員会（淡路島日本遺産委員会、洲本市、南あわじ市、淡路市、兵庫興淡路県民局、加観光協会、淡路青年会議所、淡路島くうみ協会、パソナグループ）

■後援 外務省、経済産業省、観光庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、関西経済連合会、読売テレビ、MBSテレビ、関西テレビ放送、産経新聞社、朝日新聞神戸総局（順不同）

＜企画・制作＞産経新聞社メディア営業局

安倍元首相招き60周年記念講演

淡路市 淡路青年会議所（JC）は、安倍晋三元首相を招いた講演会「地方創生は令和のくにうみ～淡路島一市へ」を、6月26日に淡路市夢舞台のグランドニッコー淡路で開く。

淡路JC創立60周年の記念式典に合わせて企画した。講演会は午後2時10分から約2時間半を予定。安倍元首相は、地方活性化の重要性について約30分間話す。



その後、大阪公立大大学院の小長谷一之教授（都市経営学）が、島内3市の財政や文化を踏まえ、1市となった場合の効率的な行政運営を語る。

会員以外に参加者150人を募集する。無料。淡路JCは1市推進を掲げており、川越勇輔理事長（36）は「未来に責任がある世代として豊かな島を目指して考え方を広めていきたい」と話している。

要予約（先着順）。5月26日午前10時から淡路JCホームページかファクスで受け付ける。淡路JC事務局 ☎0799・22・6611 （吉田みなみ）

講演会を開く淡路青年会議所の川越勇輔理事長（中央）ら＝洲本市桑間

来月26日に淡路JC、聴講者150人募集

神戸 5/26

安倍元首相「地域創生」語る

来月26日 淡路JC60周年記念講演会

淡路青年会議所（JC）は6月26日、淡路市のグランドニッコー淡路で、創立60周年を記念した講演会「地方創生は令和のくにうみ～淡路島一市へ」を開く。安倍晋三元首相や大阪公立大大学院の小長谷一之教授（都市経営学）がそれぞれ講演する予定で、参加者を募集している。

同JCは20年以上前から島内3市を1つにする「淡路島一市運動」を展開。島一市の可能性と将来ビジョンを島民と共有しようと講演会を企画した。

講演会では安倍氏が地域創生の重要性について、数多くの地域活性化プロジェクトに携わる小長谷教授が島一市になった際の行財政の効率化や観光振興などについて語る予定という。

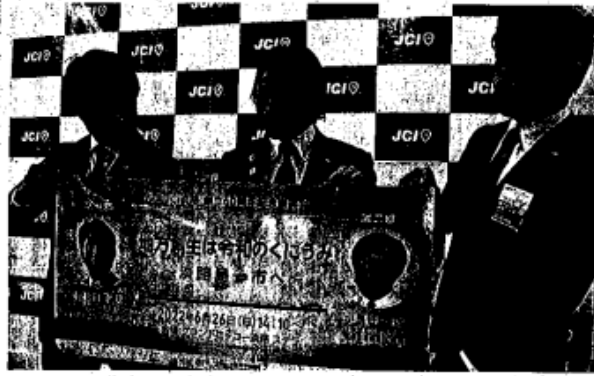
同JC淡路島一市推進委員会の戸田敦大委員長は「JCが思い描く将来ビジョンの島一市について一緒に考えてもらえたら」と話している。

当日は午後2時10分から。入場無料。定員150人で定員に達し次第締め切る。同JCのホームページかファクス（0799・22・6626）で申し込む。

産経 5/28

安倍元首相講演 参加募る

淡路青年会議所 60年式典



講演への参加を呼びかける淡路青年会議所の川越理事長（中央）ら（洲本市で）

淡路青年会議所（洲本市）は6月26日、「創立60周年記念式典」をグランドニッコー淡路（淡路市夢舞台）で開く。安倍晋三元首相らの講演会があり、先着150人で参加者を募集する。同青年会議所は1963年創立で、淡路島内の若手経営者ら約50人が地域活性化や青少年育成などに取り組んでいる。

講演会は、島内3市を合併する「淡路島一市」の意義について考える機会にするために開く。首相時代に地方創生を進めた安倍氏を招き、都市政策に詳しい大阪公立大学大学院の小長谷一之教授にも島内一市について語ってもらう。川越勇輔理事長（36）は「財政や行政の効率化に向け、淡路島一市の機運を高

めたい」と話している。講演会は午後2時10分から。参加無料。申し込みは、26日午前10時から同青年会議所のホームページからファ

クス（0799・22・6626）で受け付ける。問い合わせは淡路青年会議所（0799・22・6611）。

読売 5/26

淡路JCI 60周年記念式典

安倍晋三元首相ら講演

地方の活性化など語る

淡路島内の若手経済人を中心に構成する淡路青年会議所(JCI)の創立60周年を記念した式典と講演会が26日、淡路市夢舞台のグラウンドニッコー淡路であった。講演会には安倍晋三元首相が招かれ、新型コロナウイルス禍を機に見直される地方の活性化などについて語った。

淡路JCIは1963年に創立。島内でのイベントの開催や「淡路島1市」の実現を提唱し、島民に賛否を問うアンケートを実施するなどの活動に取り組んできた。

この日の式典には、行政、経済、議会など地域の各界代表のほか、県内各地の青年会議所員らが参加。登壇した川越勇輔理事長は「先輩方が阪神・淡路大震災などの困難を乗り越えてきたからこそこの60年。私たちもコロナ禍を脱却し、島の未来を切り開いていきたい」などとあいさつした。

続いてあった地方創生をテーマにした講演会では、安倍元首相と、大阪公立大学大学院の小長谷一之教授が講師を担った。安倍元首相は、東京の移住相談所を

淡路青年会議所の創立60周年の記念式典であいさつする川越勇輔理事長＝淡路市夢舞台



訪れる相談者の人数や年齢が変化していることを説

焼あそび屋
わたる

本誌
国道28号沿
62-3737

明。「10年前は退職した60代以上が主流だったが、今は50代以下が8割。相談件

数も15倍くらい増えた」といい、「ライフスタイルの変化に地方活性化のチャンスがある」と力を込めた。また、政権下で実施した金融政策や、安全保障政策について語る場面もあった。

(西竹唯太郎)

淡路市

プロ野球阪神タイガースの近本光司選手が講師になる子ども向けスポーツ教室が12月4日、淡路市佐野新島の県立淡路佐野運動公園で開かれる。主催の淡路青年会議所（淡路JC）が参加者を募っている。

募集は島内在住の小学1～3年生50人。屋内練習場で、阪神で実際に行っているウォーミングアップを体験する。近本選手が遠投やバッティングを披露する。参加児童1人につき、保護者2人まで入場できる。

プロのウォーミングアップ体験

阪神・近本選手がスポーツ教室

12月4日、小1～3年対象に

昨春秋、近本選手が「地元の子ともがスポーツに触れられるイベントができなにか」と提案したのがきっかけという。淡路JCは創立60周年事業として催し、「近本選手の郷土愛で実現した。プロの現役選手を間近で見られる機会」と呼びかけている。

参加費無料。申し込みは11月18日まで。淡路JCへのファクスかメールで受け付ける。同21日以降に抽せんし、当選者にのみ連絡する。同会議所 ☎0799・22・6611

（吉田みなみ）

近本選手と運動しよう



スポーツ教室の水スターを持ち、参加申し込みを呼びかける淡路青年会議所の川越理事長（中央）ら（洲本市で）

淡路で来月 児童募る

プロ野球・阪神タイガースの近本光司選手が子どもたちと交流するスポーツ教室が12月4日午後1時半から県立淡路佐野運動公園屋内練習場（淡路市）で開催される。近本選手の地元への熱い思いから初めての開催が決まり、主催の淡路青年会議所が参加児童50人を募集している。

（近藤修史）

ボール投げやトーク「島の子のため」熱意



今シーズンも走攻守三拍子そろったプレーを披露した近本選手（甲子園球場で）

近本選手は、淡路市立学習小、東浦中出身。近本選手から昨年、「淡路島の子どものために何かしたい」と提案があり、聞くことになった。

当日は、野球教室ではなく、一緒に走ったり、ボールを投げたりしてスポーツに親しむ機会にする一方、シャープな打撃なども見てもらい、地元への思いを語る時間や質問コーナーなども設ける予定にしている。当日の内容について何度やり取りを続けている青年会議所によると、近本選手は子どもの頃、阪神などで活躍したアリス選手の本塁打を見てプロ野球選手

を目指ようになったという。毎年継続して開催することを望んでいるといい、川越勇輔理事長は「かつての近本選手と同じように、近くでプロ野球選手を見てもらい、感動する体験をすることで次の近本選手が出てくることになれば」と話している。

参加費無料。対象は島内在住の小学1～3年の男女で、申し込み多数の場合は抽選。ファクスかメールで受け付け、締め切りは18日。席間の保護者らも2人まで会場に入れる。問い合わせは淡路青年会議所事務局（0799・22・6611）。

フオトスケッチ!

近本&村上選手の スポーツ教室

12 / 4 佐野運動公園



- ①子どもたちの質問に答える近本選手（右）と村上選手（左）。
 ②両選手が鬼役になった「しっぽ取り」ゲームで大盛り上がり。
 ③シャトルランで、速く走るコツを助言する近本選手。

阪神タイガースの近本光司選手（淡路市）と村上領樹選手（南あわじ市出身）によるスポーツ教室が行われました。一般社団法人淡路青年会議所が『創立60周年記念事業』として主催したもので、島内の小学校低学年60人が参加。

シャトルランでは今季盗塁王に輝いた近本選手が「前を向いて、腕を振ると速く走れる」と子どもたちにアドバイス。また、キャッチボールでは投手である村上選手が投げるボールの迫力に、子どもたちだけではなく、保護者からも感嘆の声が上がりました。

北淡小学校3年生の高田市也さんは「2人ともカッコよかった。将来、近本選手のような足の速い選手になりたい」、大町小学校2年生の中舎捺さんは「近本選手の笑顔が好き。今日出会えたのは奇跡」と、ヒーローと過ごせた時間に感激していました。

盗塁王・近本選手と児童躍動



腰の帯を狙い子どもたちを追いかける近本光司選手
手：淡路市佐野運動公園

60人、阪神2選手に学ぶ

淡路市 プロ野球阪神の近本光司外野手(淡路市出身)と村上嶺樹投手(南あわじ市出身)によるスポーツ教室が4日、淡路市の佐野運動公園屋内練習場であった。淡路青年会議所(淡路JC)の創立60周年事業。島内の小学1～3年生60人が、走り方やボールの投げ方など基本的な体の使い方を学んだ。

両選手が鬼役になり、子どもたちの腰に付けた布の帯を奪う「しっぽ取り」でスタート。「全部取る」と宣言した近本選手だが、子どもたちの素早い動きに大苦戦。最後は「子どもには勝てない」とへたり込んだ。

約20mの距離を往復するシャトルランでは、盗塁王の近本選手が軽快な動きを披露。「腕を振ると足も動く」「下を見ず、真っすぐ前を向いて走る」などと助言した。キャッチボールでは村上選手の遠投力に驚きの声が上がった。

近本選手は子どもたちに、「大人になって今日のことを思い出し、自分が古里のために何ができるか考えてほしい」と語った。洲本市立都志小2年の金谷菜々海さんは「ピッチャーになりたい。近本選手に投げ方がきれいと言われて自信になった」とにっこり。近本選手の母校の淡路市立学習小2年井脇亮模君は、「先輩にすごい選手がいてうれしい」と話していた。(内田世紀)

2023年度 事業報告書

2023年1月1日～2023年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

一 般 社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所

2023年度 スローガン

機に勇ましく！

～新たな可能性を生み出すために～



2023年度 理事長

伊山 真司

1. 2023 年度 理事長所信

はじめに

戦後間もない荒廃した時代、真の日本再建を誓った青年たちの手によって日本の青年会議所運動は始まりました。以降、急速な経済成長によって目覚ましい発展を遂げた現代、当時の青年たちが思い描いた「明るい豊かな社会」は、すでに実現されたのかもしれませんが、しかし、現代と未来を担う私たち青年世代が目指すべき理想は、これより先にあります。時代や環境の変化がもたらす新たな社会的課題に目を向け、我がことに捉えることで、私たちはまた未来へ希望を抱くようになるのです。その思いを行動へと移すことが運動のはじまりであり、共感を広げることで運動はさらに力強く前進し、延いては私たちが描く「明るい豊かな社会」の実現へと繋がります。私たちは青年会議所を通して、その運動を起こせる青年としての発展と成長の機会を日々の活動から得ているのです。先人達の強い信念と血の滲むような努力によって積み重ねてこられた歴史に学び、現代社会が持つ課題と向き合って、社会によりよい変化を起こす不変の志で、無限の可能性が広がる未来へと一步を踏み出しましょう。そして、あらゆる機会に勇敢に挑む JAYCEE となって、運動を起こしてまいります。

多様で持続性のある地域へ

一般社団法人淡路青年会議所は淡路島が一市十町時代から「淡路はひとつ」を基本理念に、諸先輩方がそれぞれの時代背景でまちづくり運動を行い、私たち現役へと受け継がれてきました。その一つに「淡路島一市運動」があり、淡路島内の地方行政が一つにまとまることの重要性を訴えてきました。今年度も私たちは、その運動に強い思いを持って取り組んでまいります。

現在、多くの地域で少子高齢化による過疎化が進行する中で、地方の在り方やこれからの時代をどのようにして生き残るのかということは、まちづくりにおける大きなテーマの一つになっています。一方で地方における利便性、ICT や IoT の普及に伴うデジタル化が進み「どこにいても誰とでも繋がれる社会」へ変遷していく現代において、住む場所の優位性はこれから益々薄れていくと感じます。ここ淡路島においても移住者が増加傾向にあることに加えて、都市部からの企業移転によって東京一極集中から地方分散へ明るい兆しがみられています。それでも、近い将来は地方のみならず都市部においても人口減少問題に直面するとされる中、私たちは更なる危機感をもって持続可能な社会に向けたまちづくりを推し進めていかなければなりません。それには現状の課題を受け入れながらも、淡路島がより利便性に優れた地域となって、人々の暮らしをさらに豊かにしていく考えを持つことが重要であり、先進的なツールを駆使し淡路島を圏域とした戦略的なまちづくりをお

こなっていく必要があります。そして、これらを進める上で島内行政の一体化の可能性は大いに広がることでしょう。高度なサービスを提供していくためには絶えず利便性の向上、効率化を図り、公共性を高めていく必要があります。私たちは、淡路島が本当の意味で持続可能な地域社会となるために淡路島一市運動を進めてまいります。

人間力を育む環境づくり

私たちは奉仕の精神のもと、ひとづくり、まちづくりへの取り組みから自身の発展と成長の機会を見出しています。そして、そこから得た力をまた地域や組織に注ぐことによって、よりよい方向に進むのならば、私たちは積極的に行動していかなければなりません。

地域に目を向けると、目の前に浮かんでくるのは地域の未来を担う子どもたちです。アフターコロナと言われながら未だに変異を繰り返し、猛威を振るう新型コロナウイルスによって、楽しいはずの日常が空虚に感じてしまう現代、将来子どもたちにとってこの時間はどのように記憶されるのでしょうか。また、目まぐるしく変化する情報社会に、私たち大人は便利さを優先してしまい、子どもたちに正しい選択をできるように導くことができているでしょうか。子どもたちが道徳心に溢れ、夢を描くことは未来を明るくする原動力であり、淡路島の未来を託すために欠かせないものです。物質的に豊かになった現代だからこそ、私たち大人が子どもたちに伝えていかなければならないのは、心を磨き、体を練る、健全な精神の育成と希望に胸を膨らませる想いの醸成であり、私たちはその機会を提供してまいります。組織に目を向けると、青年経済人として時代に先駆けた活動を行っていくためには、柔軟な発想力と活発な行動力が必要です。青年会議所はそれらを養うための仕組みを持っており、それらを活かすための土台を設けています。メンバー一人ひとりの資質が向上するということは JCI 淡路の組織力が向上することでもあります。私たちは次代を担うメンバーと、地域に影響を与え、地域の魅力を発信し、地域を愛せる人財へと成長する機会を創ることで、このまちを牽引するリーダーとしての意識を醸成させていきたいと考えます。そして、私たちの運動がさらに力強く進んでいけるように、活動の魅力を存分に伝えて多くの共感を広げてまいります。

未来に繋がる同志の拡大

日本全国に存在する青年会議所の多くは会員数の減少や在籍年数の短期化に頭を悩ませ、同志の拡大に励んでいます。ここ数年、JCI 淡路のメンバーは大きく変化し、年齢の若いメンバーも増えつつあり、メンバー数自体も維持をすることができています。しかしながら、地域へのより強い影響力と力強い活動を行うためには、多くの同志を集める必要があります。拡大活動は活発に行っていかなければなりません。そして、青年会議所活動は 20 歳から 40 歳までの限られた期間でのみ活動するため、常に人は入れ替わります。それで

も、JCI 淡路への共感を増やし、常に淡路島の未来を考える若者が存在し続ける組織であるためにも、拡大活動は継続的に行わなければなりません。これらの拡大活動をなすためには、組織内だけの単一的な拡大メソッドではなく、多くを巻き込み、統率のとれた拡大活動を発信し続けなければなりません。人が増えるだけではなく、一人でも多くの同志を増やし、心からまちづくりへ参加できる人財をもって永続的な組織づくりを継承してまいります。

垣根を越えた交流

私たちが活動できる 20 歳から 40 歳までの期間は、仕事、家庭、趣味などにも打ち込める期間であります。この人生でもっとも重要な期間に、同じ志を持って集まったのが青年会議所メンバーです。限られた時間の中で共に多くを学び、共に困難に立ち向い、それを乗り越えることで、自己の成長へとつながります。しかし、ここ数年は新型コロナウイルスの影響により、膝をつきあわせての交流は甚だしく損なわれることになりました。「ニューノーマル」が打ち出され、コロナとの向き合い方を学んだ今、あらためて従来の枠組みにとらわれず、新たな形で交流する機会を創出することが求められます。その機会が尊く、大変貴重なものだとして理解し、メンバー同志がしっかりと交流を深め、絆を更に強固なものへとするために、新たな生活様式から交流のかたちを見出してまいります。また、周りの支えがあるからこそ私たちは安心して JC 活動に取り組めるのです。だからこそ私たちが日々どのような活動をし、どのような仲間と地域の未来について考えているのか、これまで以上に共有し共感を広げていくことも JC 活動の一つであると捉えて、枠組みを越えた交流を積極的におこなってまいります。

さいごに

このような時代だからこそ、私たちは青年会議所活動で培った経験を活かし、地域を牽引する存在として、リーダーシップを発揮する必要があります。そして、広い視野と見識をもった信頼される人財として、明るい豊かな社会の実現へ向けて地域社会に貢献していかなければなりません。それを実現できるのは青年会議所であると信じています。現状を悲観的に捉えるのではなく、次の一步をどう踏み出すべきかを考え、行動していくことが重要です。青年会議所は常に歩みを止めることなく「奉仕・修練・友情」の三信条を胸にメンバーが切磋琢磨しながら成長し、ひとづくり、まちづくりに寄与することで存在意義を発揮してきました。そして私たちは多くの方々の支えのもとに活動を行うことができおります。人に、地域に、活動を行えていることすべてに対して感謝と敬意を持って、限られた時間を惜しまず様々な機会にも勇敢に向き合って、行動を起こしてまいりましょう。それが、「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると信じて。

2. 基 本 方 針

一、学びから得る心を大切にする

一、何事も当然とせず研鑽を積む

一、常に前向きな姿勢を貫く

3. 副 理 事 長 抱 負

副理事長 濱 健一 平松 奈津紀 植野 泰幸 横山 泰明



我々一般社団法人淡路青年会議所はこれまで 60 年間の歴史の中で、「淡路はひとつ」という基本理念の基、その実現へと繋げるべく先駆的な活動を続けてまいりました。近年経験豊富な多くの先輩方が卒業され、メンバー構成が大きく変わりましたが JCI 淡路が今後も力強く発信し続けるためには、メンバー一人ひとりが柔軟な発想力と高い意識のもとで活発な行動をし続ける必要があります。

諸先輩方から今日まで受け継がれてきたまちづくりに対する情熱や姿勢は 61 年目を迎える本年度も受け継がれ、次代に継承されていくべきことであります。なぜなら、私たちの活動そのものが諸先輩方の築き上げてきた歴史と伝統の上に成り立っているからです。そのために我々副理事長は、メンバー全員の模範となるよう積極的な行動をもって JC 活動へ関わってまいります。メンバー各々が今年度行われる活動の本質を理解し、共有し、その結果が新たな淡路島の方向性へと繋がることを理解し、歴史の一部となりうるという事を常に意識しなければなりません。そして、自身の取る行動一つひとつに対して、それが地域のため、組織のため、そして何より自身の成長に繋がっているのかを考えた上で行動し、活動できるよう指導を行ってまいります。また、私たちは日々の JC 活動を行う中で歴史と伝統を受け継ぐことの重要性、また Jaycee として認識すべき自覚と責任を全メンバーに伝えてまいります。それらをメンバー一人ひとりが身に付けることによって、JCI 淡路らしい唯一無二の組織となると確信しております。

我々が背中を見せ、組織全体が理事長の想いを形にし、明確な意思を組織に、そして社会に発信できるよう取り組んでまいります。そのことが「明るい豊かな淡路島」の実現につながるものと確信いたします。

基本方針

1. 理事長の指し示すビジョンをメンバーへと伝播し、意識共有を徹底します。
2. 組織力向上を常に意識し、個と個のつながりを高めてまいります。
3. Jaycee としての自覚と責任を全メンバーへ伝えます。

4. 専務理事抱負

専務理事 木戸 隆一郎



我々一般社団法人淡路青年会議所は、「淡路はひとつ」という基本理念のもと 60 年間活動してまいりました。節目から新たな歩みを始める今年度は、先輩諸兄がこれまで積み重ねてこられた想いや伝統を継承するとともに、時代に即応した組織を展開していかなければなりません。そのためには、淡路島の将来を見据えたメンバーの成長と、機を的確に捉え、行動の伴った組織にする必要があります。

コロナ禍によって急速に進みつつあるデジタル化を活用しつつも、メンバー同士のつながりや関わりが希薄化しないよう、メンバー一人ひとりへ目配り心配りをしながら、LOM 全体の連絡調整を密に行い、理事長の指し示す方向へと導いてまいります。三役間での意思の疎通を的確に行えるよう情報共有を図り、法人格を有する団体として、法令遵守はもとより、定款や規則等に基づく円滑な組織運営を行うために不断の努力を行ってまいります。そのために、理事会において効率的かつ本質的な議論ができるよう、設営や環境整備を万全にするとともに、組織の一員として自覚と誇りを持って意思決定ができる場となるよう、意義や目的を浸透させます。また、メンバー一人ひとりが責任感を持って、JCI 淡路の活動や運動を行うことで、人財としての成長を促す機会を創出し、メンバー相互の繋がりを深めることで、組織としての魅力が伝播するよう力を注いでまいります。また、特別会員をはじめ他 LOM や関係諸団体の窓口として連携を密にし、迅速な情報共有を図ることで、メンバーにとってもより有益な活動に繋がるよう心掛けてまいります。

専務理事としての役割を全うし組織運営を円滑に行い、理事長が思い描く淡路島の実現に向けて、メンバー全員が一丸となって力強く活動をしていくことで、その輪が広がり、ひいては「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

基本方針

1. 理事長の指し示す方向をメンバーに浸透させます。
2. 凡事徹底し、組織の円滑な運営を行います。
3. メンバー同士が切磋琢磨し、より強固なつながりのもと活動できる環境を整えます。

5. 監 事 抱 負

監事 三浦 義崇



川越 勇輔



創立 60 周年を経て、本年度、一般社団法人淡路青年会議所は 61 年目を迎えます。コロナ禍を経験したことで変化を恐れず、何事にもチャレンジする新たな機運が高まっているように思います。果敢にチャレンジすることで未来を切り開いて頂きたいと思います。しかしながら、青年会議所という組織である以上ルールに基づいた運営が必要不可欠です。伊山理事長の掲げるスローガン「機に勇ましく！～新たな可能性を生み出すために～」の基、予算やコンプライアンスの順守などに加えて、それぞれの委員会が役割を的確に遂行し「明るい豊かな淡路島」実現のために、きちんとした活動が行われているかを監事として見極め、冷静に監査してまいります。今まで経験してきたことを基に、2023 年すべての事業が成功に向かうよう時には厳しく叱咤激励をし、またメンバーにアドバイス等も積極的に行ってまいります。一年間メンバーの皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

基本方針

1. 理事会と相反する位置づけとして、起こるであろう事由を見極め、的確な判断をいたします。
2. 理事に対し、青年会議所メンバーとしてのあるべき姿を追求し、指導いたします。
3. 青年会議所のルールを理解した上での果敢なチャレンジを応援し、積極的なアドバイスを行ってまいります。

6. 公室長・委員長事業計画並びに予算及び役割業務

理事長公室 公室長 坂本 敏行



我々一般社団法人淡路青年会議所は、「淡路はひとつ」の基本理念のもと、淡路島の将来を担う青年が集い、想いを一つに淡路島の発展に果敢に挑戦してまいりました。昨年度創立 60 周年の節目を迎え、先輩方が今まで繋いできた想いを、次の一歩とするために、その存在価値をより向上して行く事が求められています。そこで、多角的な意見を取り入れながら、活発な議論がなされる環境を整備することが必要です。

まず、理事長公室としては、理事長の秘書的業務や専務理事の補佐、理事会・三役会の設営等の基盤となる役割を果たすとともに、基礎的業務を迅速かつ正確に行います。また、各委員会と積極的にコミュニケーションを図り、サポート役としての機能を担ってまいります。JCI 淡路は、集まり議論することを大切にしてきました。議論の本質は、人が集まり、情報を共有して、意見を深める事です。近年では、ICT ツールは目覚ましい発達を遂げ、コミュニケーションや組織運営にも多く導入され、JCI 淡路でも、理事会、三役会等で ICT ツールの活用が進み、議論や交流を円滑に進める一助となっています。新しい技術を正しく取り入れることで、時間や場所の制約を受けずに、議論できる機会を提供していきます。しかし、ICT 活用が進んでも、直接集まって議論する重要性は不変のものであり、各委員長、メンバーから積極的に意見や要望を集め、運営に反映させることで参画意識を高め、より活発な議論が交わされる場を醸成していきます。経験年数に捉われず、多様な意見が交わされることによって、これまでの歩みを先に進め、組織の可能性を上げます。

活発なコミュニケーションから導き出された行動は、メンバー一人ひとりの成長を生み出し、共に行動したメンバーの一体感が、更なる組織としての糧となり、それが次の一歩となって「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信しております。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額（円）
・例会の企画・設営及び運営	1 月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	62,000
・会員名簿の作成	1 月	会員名簿の発行	正会員 特別会員	350,000
・総合資料の作成	1 月	PDF データー及び CD-R	正会員 特別会員	1,000
・例会の企画・設営及び運営	6 月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	21,000
			合計	434,000

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営（2 回）	1・6 月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・会員名簿の作成	1 月	会員名簿の発行
・2023 年度総合資料の作成	1 月	PDF データー及び CD-R
・総会の設営及び運営、総会資料の作成	1 月	
・褒賞に関する報告書作成 及び 褒賞委員会企画・設営及び運営	通年	
・理事長の秘書的業務及び専務理事の補佐	通年	
・一般庶務事項及び発送文章の管理	通年	
・選挙管理委員会の設置	通年	
・財務に関する処理及びコストダウンの調査	6 月	
・年会費・入会金の調査	通年	
・会費の徴収	通年	
・渉外業務全般	前・後期	
・事務局全般にわたる業務及び管理	通年	
・理事会の設営及び議事録の作成	通年	
・三役会の設営	通年	
・通信案内簿及び諸記録の整理	通年	
・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・公室活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

持続社会開発委員会 委員長 高田 祥平



ICT や IOT の普及に伴うデジタル化に加えて、新型コロナウイルスにより新たな生活様式を強いられる中、ヒト・モノ・カネの動きだけではなく、価値観そのものが変化する情報化社会となりました。価値観の変革により、住む場所の優位性も薄れ、東京一極集中から地方分散へと流れが変わり、地方の在り方も問われています。淡路島においても、人口減少社会における持続可能な地域のまちづくりについて考えていく必要があります。

一般社団法人淡路青年会議所が「淡路はひとつ」の基本理念のもとに取り組んできた私たちの運動は、今、新たなステージを迎えています。これまで先輩方がそれぞれの時代背景で挑んできたまちづくりに加え、地方が注目される時代を迎えた淡路島には、独自の歴史や伝統、食や産業、「日本遺産」など、強みや魅力が多く存在し、激化する地域間競争に対して、大きなアドバンテージがあり、移住者も増加傾向にあります。それでも、多くの地域で少子高齢化による過疎化が進行している中、淡路島においても、人口減少社会における最適化を図る上で、「淡路島一市」は必要不可欠です。しかしながら、淡路島が一体となる事への島民の不安の声があることも事実です。地域行政が、デジタル化により多様化し複雑化した様々な島民の暮らしに寄り添い、より便利で豊かな社会を目指すためには、島民の不安を排除し、ひとつになる必要があります。今こそ私たちが、時間と距離を超越するための先進的なツールを駆使する術を学ぶことで、淡路島の新たな価値を見出し、官民双方にとって均衡の取れた「持続可能な社会」を目指します。

淡路島が一体となるための橋渡しを私たちが担います。私たちが時代に即した行動で価値を表現し、淡路島民全員で課題解決に取り組むことが、「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信しております。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額（円）
・例会の企画・設営及び運営	4 月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員 候補者	555,500
・社会開発事業の企画・設営及び運営	6 月	社会開発事業	正会員 準会員 候補者 特別会員 淡路島民	1120,000
			合計	1,675,500

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営（1 回）	4 月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・社会開発事業の企画・設営及び運営	6 月	社会開発事業
・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

次世代育成委員会 委員長 戸田 敦大



私たち一般社団法人淡路青年会議所は「淡路はひとつ」の基本理念のもと、60年に渡り活動してまいりました。そして先輩方からのバトンを引き継ぎ、自己と組織が成長、発展していくためには「現状維持即衰退」の言葉が表す通り、青年経済人としての自覚を持ち、常に研鑽に励まなければなりません。そのためには、自らで自身を成長させる機会を見出し、いかなることからも常に学んでいく力を養う必要があります。

「奉仕・修練・友情」の三信条のもと、ひとづくり、まちづくりの活動をメンバー一丸となっていって一人ひとりの研鑽に繋げ、「人は人で磨かれる」と言われるように、メンバー同士がお互いに刺激し合い、気づきを得ることで資質の向上に繋がる機会の創出に努めてまいります。また、社会に対して前向きな変化を起こしていくために私たちのかけがえのない地域に目を向けてみると、コロナ禍による約3年に渡る月日において、子ども達にとってはなくてはならない授業以外での学びの機会が損なわれています。次世代を担う子ども達は私たちの未来です。子ども達に学びの機会を提供することは、未来に対する可能性を拡げていくことと同義であると考えます。次世代を担う子ども達にとって「今しかできない」大切な学びの機会を得てもらうために、「第28回わんぱく相撲淡路場所」を開催し、精一杯全力で取り組む大切さや、他者を思いやる道德心、礼儀礼節を重んじる気持ちを育み、日本の伝統文化に触れてもらうことで、健全な精神と肉体の錬成、希望をもたらす機会を子ども達に提供します。

私たち一人ひとりが青年経済人としての自覚を持ち、常に学びの機会を貪欲に捉えて自身を成長させていくと共に、奉仕の精神のもと社会に対して活動を行うことで「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信しております。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額（円）
・例会の企画・設営及び運営	2 月	例会の企画・設営 及び運営	正会員 準会員	87,000
・わんぱく相撲の企画・設営及び運営	4 月	わんぱく相撲の 企画・設営及び 運営	淡路島島民(小学生)・ 正会員・準会員	200,000
・例会の企画・設営及び運営	10 月	例会の企画・設 営及び運営	正会員 準会員	82,000
			合計	369,000

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営（2 回）	2・10 月	例会の企画・設営及び運営 わんぱく相撲淡路場所の企画・設営 及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営	4 月	
・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調 整）	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

魅力発信委員会 委員長 三澤 大祐



一般社団法人淡路青年会議所は、創立以来「淡路はひとつ」という基本理念のもと、60年という長きにわたり、先輩方が淡路島の発展に尽力されてきました。その伝統ある組織の想いを継承し、これからも発展させていく為には、JCI 淡路のメンバー一人ひとりが真剣に活動や運動に取り組む姿を魅力と捉えて、JCI 淡路を魅力ある組織として多くの方に情報発信していく必要が有ります。

当委員会では、ホームページや SNS、広報誌を通じて、例会や事業におけるメンバーの活躍する姿を JCI 淡路の魅力として発信してまいります。まずホームページでは、事業や活動を発信することと共に、各メンバーにスポットを当て、メンバーが感じた想いを発信することで、JCI 淡路の魅力をより鮮明に伝える情報発信を心掛け、一人でも多くの方に閲覧していただける運営を目指します。SNS においては、ホームページへの誘導を基本的な活用目的とし、SNS の発信頻度を上げることで JCI 淡路を知っていただく機会を増やすことに力を入れていきます。次に、広報誌においては、JCI 淡路の事業活動に加え、JCI 淡路を周知する内容を掲載することで、先輩方と現役メンバーの架け橋となるだけでなく、多くの皆様に共感の輪を広げてまいります。また、新入会員にもフォーカスを当てた内容にすることで組織の活力をみせるとともに、新しい力が JCI 淡路の更なる魅力の発信となることで、新たな人財発掘への足掛かりとなり、今後の会員拡大にも繋がっていくと考えます。

JCI 淡路のメンバーが真剣に運動・活動に取り組む姿勢を多くの方に知っていただくことで、魅力的な組織となり、その発信が新たな人財を迎え入れることに繋がり、ひいては「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信しております。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額（円）
・例会の企画・設営及び運営	7 月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	183,000
・例会の企画・設営及び運営	11 月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	127,000
・広報誌の発行	年 4 回		正会員 一般	120,000
・ホームページの管理運営	通年		正会員 一般	223,000
			合計	653,000

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営（2 回）	7・11 月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・ホームページの管理・運営	通年	
・広報誌の発行	年 4 回	年 4 回発行
・広報・メディアの活用（ホーム・ページ・SNS の有効利用）	通年	
・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡帳）	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

人財づくり委員会 委員長 小川 優一



国内の少子化に伴って青年世代が減少している中、青年会議所の会員拡大は難しい状況に置かれていると言えます。一般社団法人淡路青年会議所においても、拡大活動の成果によって、女性会員や若いメンバーが入会しておりますが、全体をみると会員数の急減はないものの、苦戦を強いられているのが現状です。本年度は LOM 内外の拡大周知の強化を図り、多くの声を集めることから人財の発掘を行っていく必要があります。

拡大活動を伝播させるうえで、メンバーの積極的な協力は必要不可欠です。そのうえで、協力体制を築いていくには当委員会がメンバーに対し、拡大意志をしっかりと伝え、手法を共有し、共に行動していくことが重要であると考えます。そのため、メンバー一人ひとりが拡大活動に取り組みやすい方策を打ち出し、メンバー全員が会員拡大における強力な伝達者として共に活動を進めてまいります。また、拡大においての現況を鑑みると、候補者情報の収集量こそ拡大における力と捉えています。だからこそ、青年会議所にある様々な出会いの場も拡大活動に勤しめる機会として、周知活動に励み、より多くの情報を集めるよう取り組んで行きます。そして、何より私たちの役割は、組織にとって財産となる人材を入会へと導くことにあります。候補者が JCI 淡路の魅力を見出せる活動を例会において展開し、ひとづくり、まちづくりに対する興味や関心を持って入会いただくことが、人財づくりの一步になると信じ、候補者との関わりをもって、一年間拡大活動に邁進してまいります。

近年、女性会員や若いメンバーの増加によって、新たな活気を生んでいます。その取り組みを継承すると共に、メンバーが一丸となり、拡大の幅を広げ、組織の活力が向上する人財を発掘することが「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信しております。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額（円）
・ 拡大パンフレット作成	1 月		候補者	35, 200
・ 例会の企画・設営及び運営	3 月	例会の企画・設営及び運営	正会員・準会員	80, 000
・ 例会の企画・設営及び運営	5 月	例会の企画・設営及び運営	正会員・準会員	400, 000
・ 例会の企画・設営及び運営	9 月	例会の企画・設営及び運営	正会員・準会員	80, 000
			合計	595, 200

役割業務	実施月	業務内容
・ 例会の企画・設営及び運営	3 月・5 月・9 月	例会の企画・設営及び運営
・ 拡大パンフレット作成	1 月	拡大パンフレットの作成
・ 例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・ 会員拡大に関する統括及び促進業務	通年	
・ 委員会活動の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

交流推進委員会 委員長 伊東 明信



一般社団法人淡路青年会議所は、創立より「淡路はひとつ」を基本理念に掲げ、多くの人と数々の事業を行い活動してまいりました。これは先輩方が、人と人の繋がりの中で助け合い、また交流を深めていったことにより、良い活動を紡いできた成果の歴史です。創立60年を経て、活発な運動を継続していくためには、時流に対応し、メンバー同士の絆が深まるような交流を推進して行く必要があります。

当委員会では交流を主とし、事業や例会にて先輩方やメンバー同士の繋がりをも深める機会を創る役割を担っております。新年会においては、本年度の方針をお披露目する重要な位置づけだからこそ、最大限のおもてなし精神をもって、参加される皆様に感謝の気持ちをお伝えする場を創出することに着実に取り組んでまいります。また例会においては、まずはメンバー全員で楽しむことを大前提に、より深い関わりを持つことにも意識を置いて、メンバーの繋がりが深まり、絆へと昇華させられるよう企画・運営に努めてまいります。そのうえで、様々な状況変化においても想いを崩すことなく、活発にコミュニケーションを図る交流でなければなりません。リアルとオンラインそれぞれの特長をしっかりと捉え、JCI 淡路が理想とする交流を維持できるよう、新たな可能性から交流の幅を広げてまいります。メンバー同士の活発な交流によって生まれる繋がり、そして絆は、今後の JCI 淡路の活動にさらなる活気を生む大切な要素であり組織の大きな推進力となります。そのことを念頭に置き、組織の活力向上に繋げてまいります。

当委員会は今年度、メンバーの参画意識を高める企画を立案し、魅力溢れる事業展開から、最高の仲間と最高の活動を行う JCI 淡路を目指し運営してまいります。それこそが、「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がるものと確信しております。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額
・新年会の企画・設営及び運営	1 月	新年会の企画・設営及び運営	正会員・特別 会員・来賓・ 他 LOM	344, 000
・例会の企画・設営及び運営	8 月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	31, 500
・例会の企画・設営及び運営	12 月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員 家族	209, 310
			合計	584, 810

役割業務	実施月	業務内容
・新年会の企画・設営及び運営	1 月	新年会の企画・設営及び運営
・例会の企画・設営及び運営（3 回）	8・12 月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・委員会活動の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	
・ゴルフ同好会・卒業コンペの開催	2 回	

7. 出 向 者 抱 負

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
監査担当役員

三浦 義崇



2023 年度、兵庫ブロック協議会 監査担当役員に出向させていただくことになりました。これまでの JC 活動を通して得てきた経験をより多く JC メンバーへ伝えられるよう努めてまいります。また、今年度得られるであろう新たな経験を JCI 淡路に持ち帰り、様々な形でフィードバックできるよう頑張ります。ご協力のほどよろしくお願い致します。

三浦監査担当役員セクレタリー

堀部 泰博



この度は、三浦監査担当役員のセクレタリーを務めさせていただくことになりました。
兵庫ブロック協議会の諸会議・行事等にご一緒させていただくにあたり、道中の安心・安全に対して常に気を配り、三浦監査がこの1年間何事もなく活動に邁進できるよう、精一杯支えていく所存です。1年間宜しくお願い致します。

三浦監査担当役員セクレタリー

樫野 芳博



本年度、三浦監査担当役員セクレタリーとして出向させて頂くことになりました。セクレタリーとして三浦監査担当をお支えするとともに、多くの方と関わりを持ち、学び経験し今後の活動に活かしていきたいと思います。一年間精一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
J C I 日本連携推進会議

議員 中山 貴子



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会日本JC連携推進会議に出向させていただくことになりました。本会議では、LOMが躍動するための新たな支援モデルの構造推進計画や世界に発信できる地域ビジネスを配信する推進計画など重要な役割を担っております。個人的に世界に発信がどのように配信していくのが興味津々です。このような機会に淡路JCから出向させていただいていることを自覚し1年間勉強させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫の未来創造委員会

委員 若林 晋一郎



兵庫ブロック協議会兵庫の未来創造委員会に出向させていただきましたことになりました。本年度の役割としましては、会員会議所各理事長と兵庫県知事との知事懇談会の実施、少年少女サッカーJCカップ兵庫大会開催などを担っております。ブロック出向させていただけることに感謝すると共に、ブロック委員会に関わり新たな見聞を広める機会を貰うことで、LOMに1つでも多くのことを持ち帰って参りたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫アカデミー委員会

委員 林 征宏



本年度、兵庫アカデミー委員会に出校させて頂くことになりました。一つでも多くの事を学び、遊びそして成長しLOMに活かしていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫アカデミー委員会

委員 江本 暁宣



今年度、兵庫アカデミー委員会に出向させて頂くことになりました。昨年入会したばかりでまだまだ未熟ではありますが、青年会議所での活動を通して学び、実践し、地域に貢献できるよう努めます。また、他地区の皆様とも交友を深め、切磋琢磨できればと思いますので、一年間よろしくお願いいたします。このような機会を頂きありがとうございます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
ブランディング戦略委員会

委員 松本 和幸



本年度、兵庫ブロック協議会ブランディング戦略委員会へ出向させて頂くことになりました。本委員会は今年度から新たに発足され、各 LOM の魅力ある事業の情報を LOM 間で共有し魅力と各地の JC 運動を融合させる契機をつくることを目的としています。委員会活動の中で多くを学び LOM に持ち帰れるように 1 年間精一杯努めて参りますので、宜しくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
ブロック大会運営委員会

委員 津田 和典



本年度、ブロック大会運営委員会に出向させて頂くことになりました。56 回目を迎える伝統あるブロック大会は本年、伊丹の地にて開催されます。県内各地青年会議所はもとより参加された県民の皆様が良い大会であったと思っていただくために、精一杯頑張ってます。よろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
財政規則審査会議

議員 原 亜里沙



本年度、兵庫ブロック協議会財務規則審査会議に出向させて頂くことになりました。

兵庫ブロックの各議長委員長が上程した議案の財務・コンプライアンスを理解、解釈し自らの規範意識を高め少しでも得たものを自 LOM に持ち帰れるように 1 年間努めますので宜しくお願い申し上げます。

8. 正味財産増減予算

自 2023 年 1 月 1 日

至 2023 年 12 月 31 日

単位：円

科 目	予算額 R5.1.1～R5.12.31	予算額 R4.1.1～R4.12.31	決算額 R3.1.1～R3.12.31	予算額 R3.1.1～R3.12.31	備考
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①受取入会金			250,000		
②受取会費	7,310,000	7,880,000	9,390,000	9,070,000	
正会員受取会費	7,040,000	7,520,000	9,120,000	8,800,000	44名×¥160,000
その他受取会費	270,000	360,000	270,000	270,000	卒業生9名×¥30,000
③事業収益	0	0	0	0	
受託事業収益	0	0	0	0	
登録料	0	0	0	0	
その他事業収益	0	0	0	0	
④受取負担金	0	0	0	0	
⑤寄付金			1,020,000		
⑥雑収益	500	500	492	500	
受取利息	500	500	92	500	
配当金	0	0	400	0	
雑収益	0	0	7,408	0	
経常収益計	7,310,500	7,880,500	10,667,900	9,070,500	
(2) 経常費用					
①事業費					
給料手当	0	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	0	
会議費 賃借料	697,150	747,739	195,950	1,078,295	
消耗品費	583,464	993,144	161,358	286,256	※予備費を計上する
レンタル料	0	0	255,000	0	
食糧費	20,000	315,000	5,760	18,000	
人件費	0	0	0		
支払手数料	330,000	190,000	200,000	30,000	
講師関係費	690,000	353,300	6,800	433,300	
謝礼金	1,030,000	520,000	80,000	540,000	
資料作成費	375,000	692,675	1,015,985	545,485	
広告普及費	115,000	869,500	97,366	601,000	
報告書作成費	990	1,100	794,200	790,990	
旅費交通費	0	0	0	0	
交際費	0	0	0	0	
保険料	0	40,000	10,000	25,000	
印刷製本費	545,000	1,198,700	347,886	347,886	
通信運搬費	25,756	243,772	19,650	31,288	
支払負担金	10,000	16,000	0	10,000	
雑費	73,000	62,070	1,760	109,500	
事業費計	4,495,360	6,243,000	3,191,715	4,847,000	

科 目	予算額 R5.1.1～R5.12.31	予算額 R4.1.1～R4.12.31	決算額 R3.1.1～R3.12.31	予算額 R3.1.1～R3.12.31	備考
②管理費					
会議費	0	24,000	5,500	0	洲本商工会議所会費
給料手当	1,100,000	1,030,000	1,049,546	980,000	
退職給付引当金					
福利厚生費	150,000	150,000	127,583	150,000	交通費・雇用保険料・制服
渉外費	300,000	300,000	178,377	300,000	家賃¥60,000+各種登録¥108,000
慶弔費	100,000	100,000	26,500	150,000	
減価償却費	100,000	100,000	264,632	100,000	
消耗品費	500,000	460,000	366,477	460,000	コピー用紙・トナー他
消耗什器備品費	0	0	0	0	
通信費	300,000	450,000	463,394	450,000	電話代・JCプレス送料等
印刷製本費	30,000	30,000	30,558	30,000	
賃借料	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	¥100,000×12ヶ月
光熱水料費	380,000	380,000	344,474	350,000	
保険料	26,000	19,000	18,590	19,000	火災保険
謝礼金	20,000	20,000	16,500	20,000	税理士報酬
修理費	50,000	50,000	54,780	50,000	
租税公課	40,000	40,000	34,692	70,000	印紙代・県民税(¥22,000)
雑費	100,000	100,000	120,566	100,000	登記代・振手・備品
小計	4,396,000	4,453,000	4,302,169	4,429,000	
③負担金					
JCI会費	94,952	78,208	88,088	86,515	¥2,158×44名
日本JC会費	250,000	265,000	325,000	320,000	¥30,000+¥5,000×44名
国際協力資金	80,300	85,775	102,200	100,375	¥5×365日×44名
近畿地区会費	81,200	86,600	102,800	101,000	¥2,000+¥1,800×44名
兵庫ブロック会費	260,000	275,000	320,000	315,000	¥40,000+¥5,000×44名
淡路島日本遺産委員会					
小計	766,452	790,583	938,088	922,890	
管理費計	5,162,452	5,243,583	5,240,257	5,351,890	
経常費用計	9,657,812	11,486,583	8,431,972	10,198,890	
当期経常増減額	△ 2,347,312	△ 3,606,083	2,235,928	△ 1,128,390	
2.経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	
経常外費用増減額					
一般正味財産増減額	△ 2,347,312	△ 3,606,083	2,235,928	△ 1,128,390	
一般正味財産期首残高			9,676,627		
一般正味財産期末残高			11,912,555		
Ⅱ 正味財産期末残高			11,912,555		

9. 役 員 名 簿

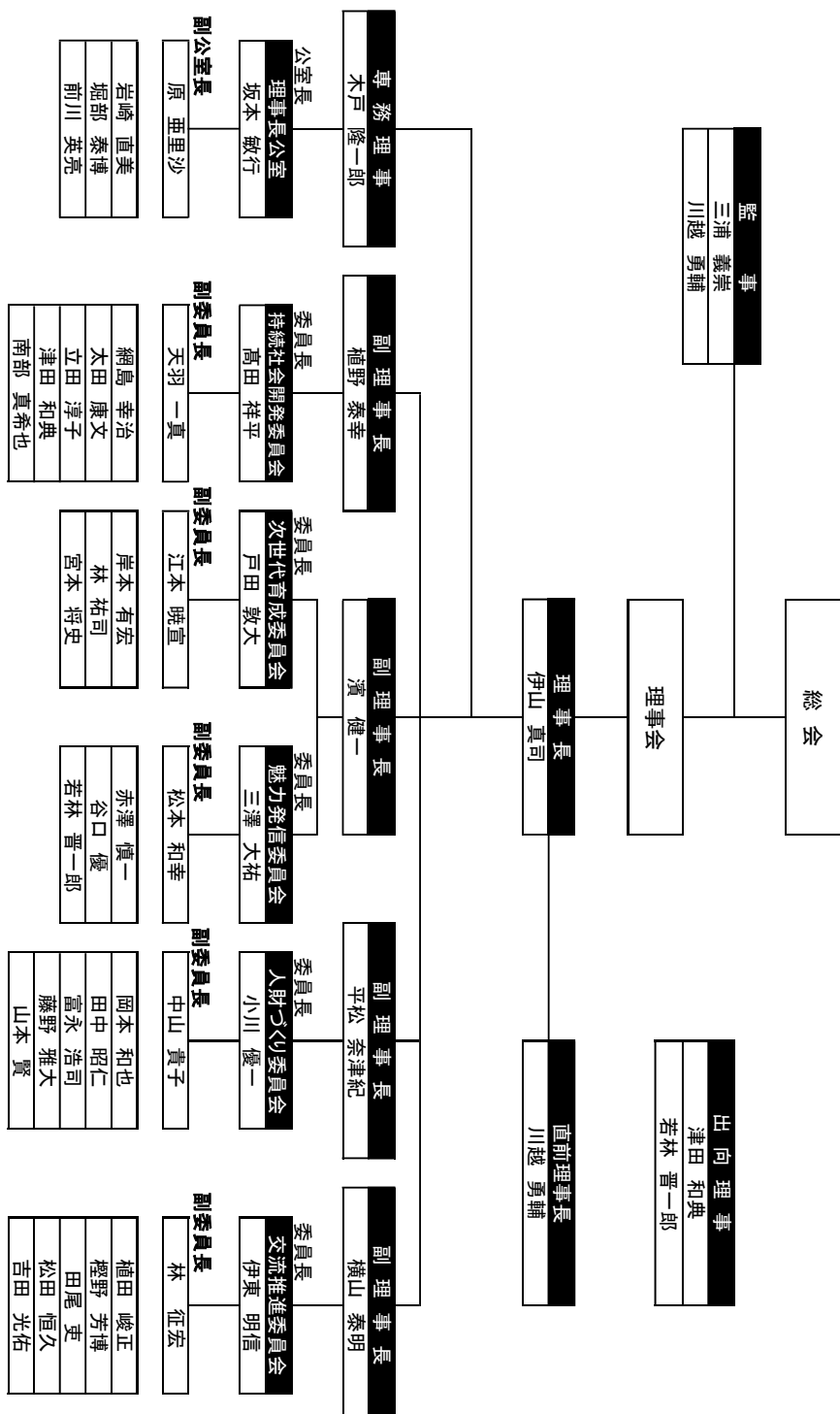
【理 事 長】	伊 山 真 司
【直前理事長兼監事】	川 越 勇 輔
【監 事】	三 浦 義 崇
【副 理 事 長】	濱 健 一
	平 松 奈 津 紀
	植 野 泰 幸
	横 山 泰 明
【専 務 理 事】	木 戸 隆 一 郎
【出 向 理 事】	津 田 和 典
【出 向 理 事】	若 林 晋 一 郎
【理 事】	坂 本 敏 行
	伊 東 明 信
	小 川 優 一
	高 田 祥 平
	戸 田 敦 大
	三 澤 大 祐

10. 出向者一覧

【公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会】

監 査 担 当 役 員	三浦 義崇
三浦監査担当役員セクレタリー	堀部 泰博
	檜野 芳博
J C I 日本連携推進会議	中山 貴子
兵庫の未来創造委員会	若林 晋一郎
兵庫アカデミー委員会	林 征 宏
	江本 暁宣
ブランディング戦略委員会	松本 和幸
ブロック大会運営委員会	津田 和典
財 政 規 則 審 査 会 議	原 亜里沙

2023年度一般社団法人淡路青年会議所 組織図



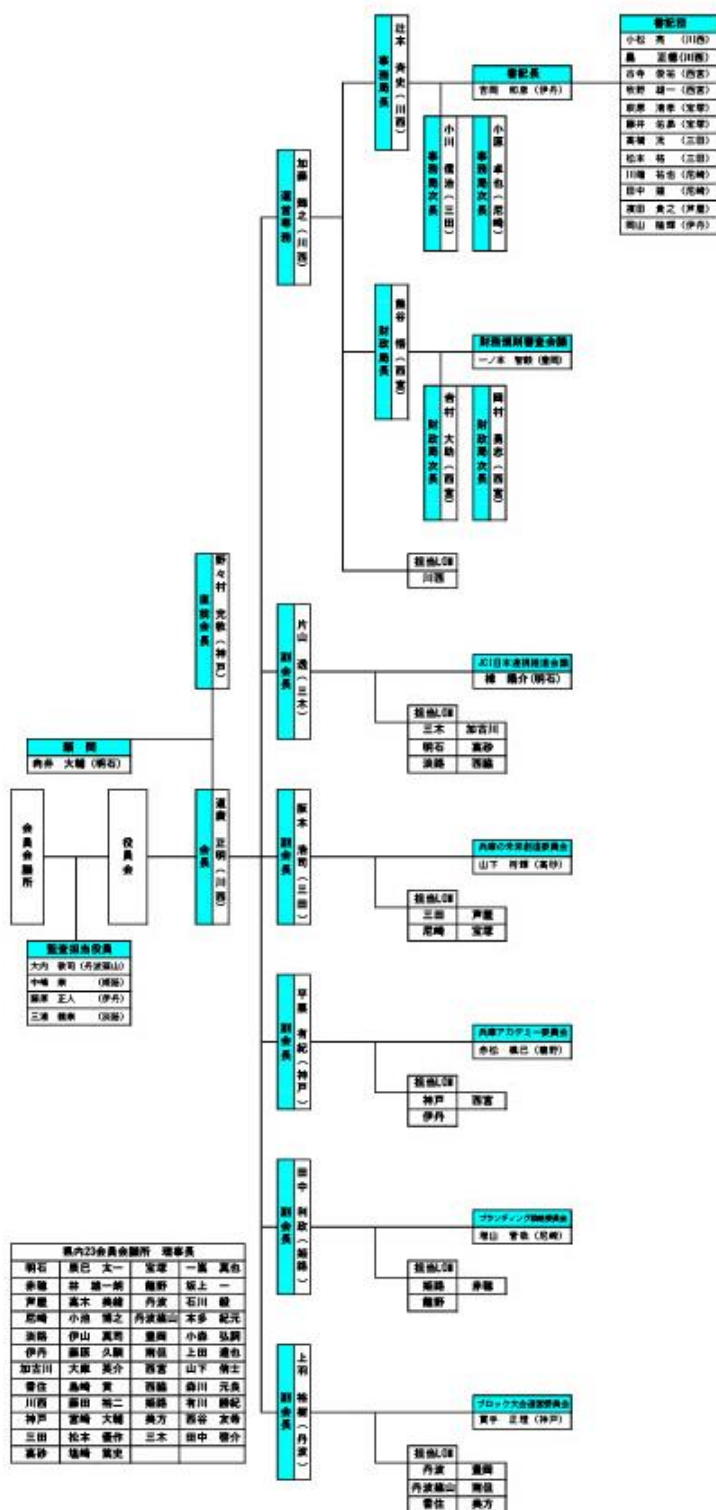
11. 組織図及び委員会構成

12. 年間スケジュール

2023年度 年間スケジュール												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例 会	11日(水) 1月例会 18:30～20:30	8日(水) 2月例会 18:30～21:00	8日(水) 3月例会 18:30～21:00	12日(水) 4月例会 18:30～21:00	10日(水) 5月例会 18:30～21:00	14日(水) 6月例会 18:30～20:00	12日(水) 7月例会 18:30～21:00	9日(水) 8月例会 18:30～20:30	13日(水) 9月例会 18:30～21:00	11日(水) 10月例会 18:30～21:00	8日(水) 11月例会 18:30～21:00	13日(水) 12月例会 17:30～20:00
	ホテルニューアワジ	夢海路	洲本市文化体育館	洲本市文化体育館	洲本市文化体育館	S BRICK	洲本市文化体育館	パシフィック・シー・ス	洲本市文化体育館	S BRICK	夢海路	けのの海
総 会	11日(水) 第20回定時総会							9日(水) 第19回臨時総会				13日(水) 第21回定時総会
理 事 会	6日(金) 17:30～19:30	1日(水) 19:00～21:30	1日(水) 19:00～21:30	5日(水) 19:00～21:30	2日(火) 19:00～21:30	7日(水) 19:00～21:30	5日(水) 19:00～21:30	2日(水) 19:00～21:30	6日(水) 19:00～21:30	4日(水) 19:00～21:30	1日(水) 19:00～21:30	6日(水) 19:00～21:30
三 役 会	23日(金)	20日(月)	27日(月)	24日(月)	29日(月)	26日(月)	24日(月)	28日(月)	25日(月)	23日(月)	27日(月)	25日(月)
日本青年会議所	京都各支部総会 19日(水)～22日(日)		総会 25日(土)				サマーキャンプ(バス・徒歩) 22日(土)～23日(日)			全国大会(総会・東京) 5日(水)～8日(月)		
JCI関係						アジア太平洋地域総会議(パシフィック) 7日(水)～10日(土)					JCI世界会議(米型) 14日(水)～18日(土)	22日(金) 明石
役員会議所会議	20日(金) 京都						役員会議所・地区大会(運動) 16日(日)～17日(月)					
委員会・議員所会議		4日(土) 神戸	24日(日) 三木	29日(土) 姫路	15日(月)	24日(日) 丹波篠山	29日(土) 伊丹		30日(土) 豊岡	4日(月)	2日(月)	23日(水) 神戸
正副会長会議	11日(水)	14日(火)	1日(水)	4日(火)		5日(月)	3日(月)					1日(金)
合同委員長会議		4日(金) 神戸										
JCI役員懇談会												
その他事業					JCIカンパ 27日(土)			フロッグス大気(伊丹) 20日(日)				
兵庫7市内 各地周年記念式典						JCI伊丹 60周年 6/3 JCI姫住 55周年 6/10 JCI加古川 65周年 6/18			JCI赤穂 60周年(米型)			
	理事長公室	1月例会 第20回臨時総会 総務資料作成	委員会著作作成			6月例会			第19回臨時総会			第21回定時総会
	持続社会開発			4月例会		社会開発事業						
	次世代育成		2月例会		第28回わんぱく相談会招請 所						10月例会	
各 委 員 会 事 業 計 画	魅力発信	対内広報誌発行 ホームページ管理・運営					7月例会				11月例会	
	人材づくり	拡大イベント作成			5月例会				9月例会			
	交流推進	新年会						8月例会				12月例会

13. 日本 J C 近畿地区兵庫ブロック協議会組織図

公益社団法人日本青年会館所 2023年度近畿地区兵庫ブロック協議会 組織図





Awaji Island